

市民会館の在り方検討報告書

【資料編】

令和8年3月

安城市

目次

(1)	利用状況調査.....	1
(2)	利用団体ヒアリング.....	9
(3)	利用団体アンケート.....	13
(4)	プロモーター等ヒアリング.....	45

(1) 利用状況調査

市内文化施設の利用状況を把握するため、令和4年度～令和6年度（3か年）の「稼働率」や「利用ジャンル」、「利用者ジャンル」等を整理しました。

①調査対象

- ・安城市民会館（以下「市民会館」という。）
- ・安城市文化センター（中央公民館）（以下「文化センター」という。）

②調査期間

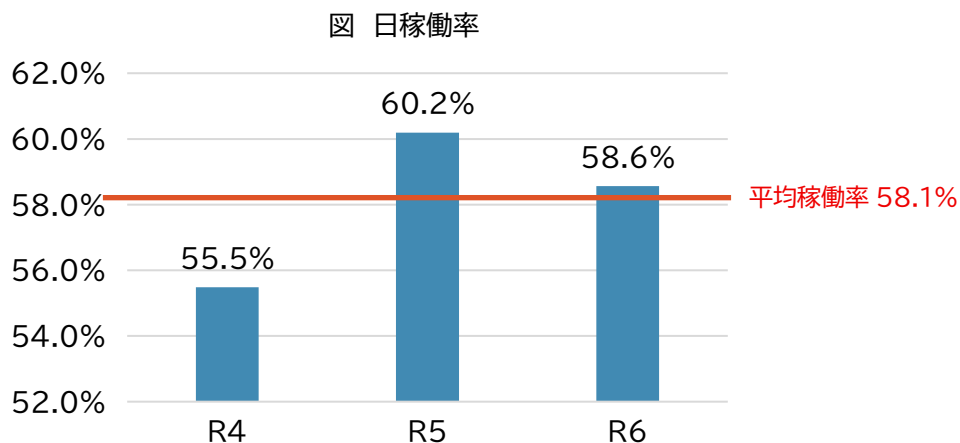
令和4年4月1日～令和7年3月31日

◇調査結果

①市民会館

【稼働率】

「令和6年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書(全国公立文化施設協会)」によると、市・特別区(30万人未満)における最大ホールの平均日稼働率は「56.5%」、最大ホールが1,000席以上の場合の平均日稼働率は「58.1%」であることから、全国平均値で推移していることが分かります。

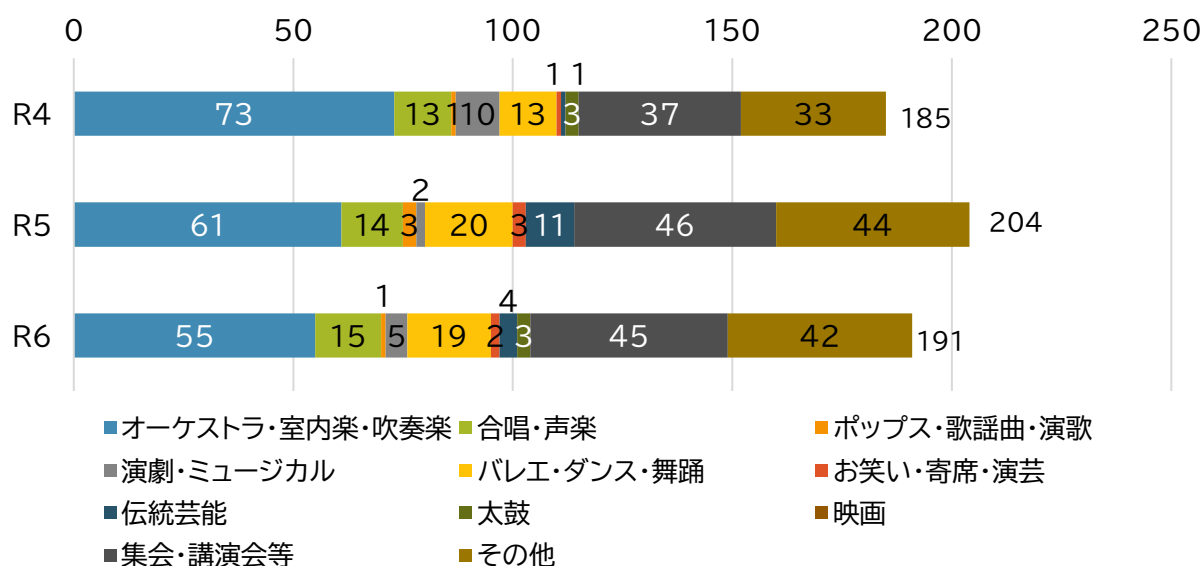


【利用ジャンル別】

利用のあったジャンルについては、「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」が最も多い結果となりました。次いで、「集会・講演会等」が2番目に多く、各種団体や民間企業等の説明会や講習会の利用がみられました。

また、「その他」には、幼稚園や学校の「発表会」や「芸術鑑賞会」などが含まれます。

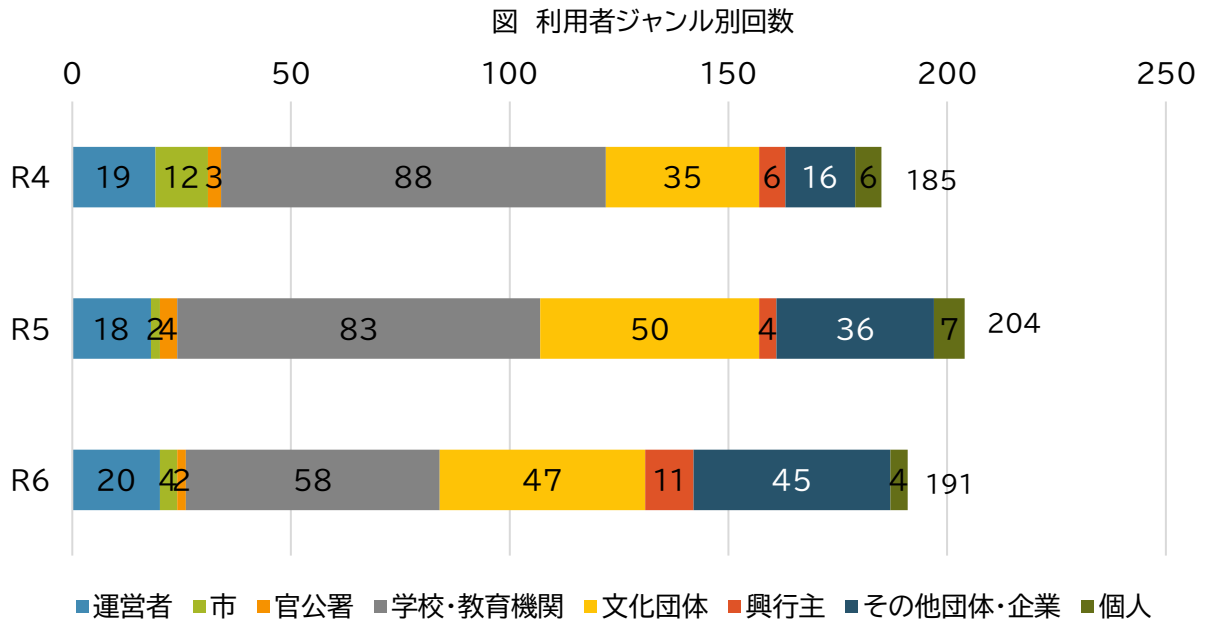
図 利用ジャンル別回数



【利用者別】

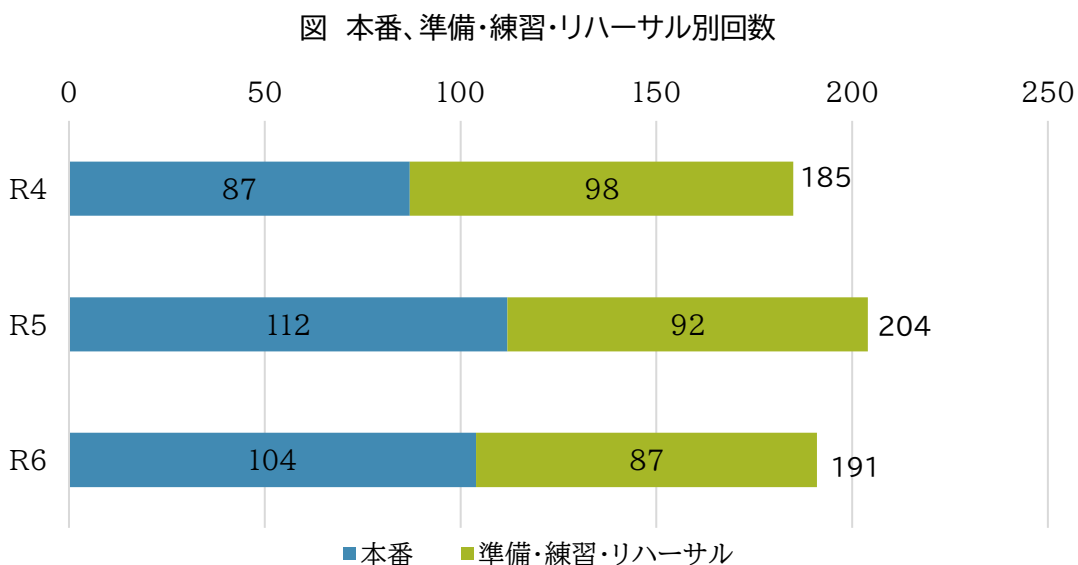
利用者ジャンル別に分析すると、「学校・教育機関」、「文化団体」、「その他団体・企業」による利用が大半を占め、「興行主」による利用は年間4～11件となっています。このことから、市民会館は市民利用・地元利用が多いことが分かります。

また、運営者（指定管理者）による利用は、年間20件程度となっています。



【本番、練習】

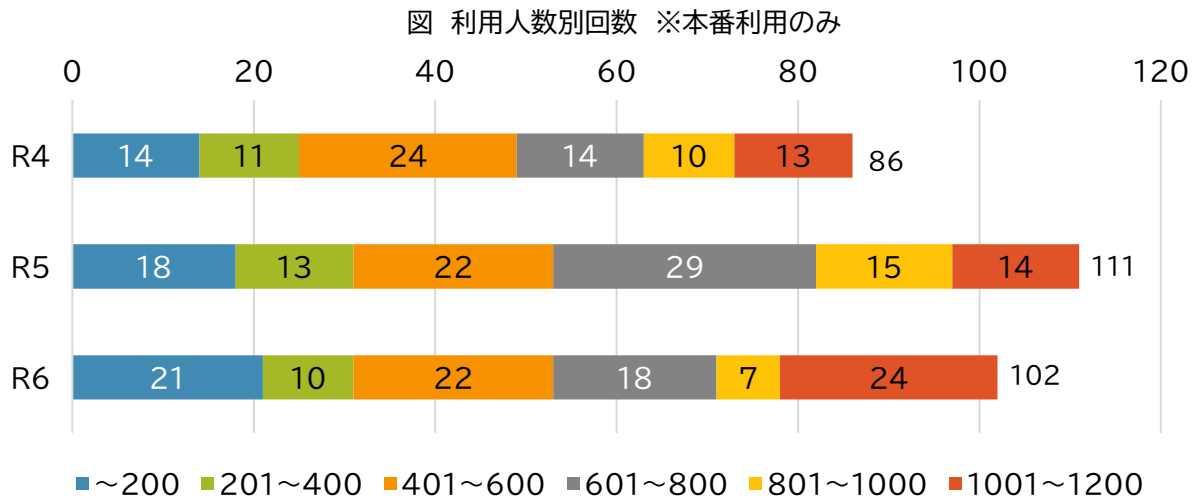
「本番」と「準備・練習・リハーサル」の利用割合については、令和4年度を除いて「本番」の利用がやや多い状況です。中学校や高校の吹奏楽部・ダンス部等の練習利用が多くみられます。



【利用人数】

満席に近い「1,001～1,200人」は年間13～24件となっています。一方、「601人以上」の利用が全体の50%前後を占めており、文化センターの客席数である502席を超える利用の需要が伺えます。また、令和6年度は「興行主」や「その他団体・企業」等の利用が増えたことから、「1,001～1,200人」での利用が例年より増加しています。

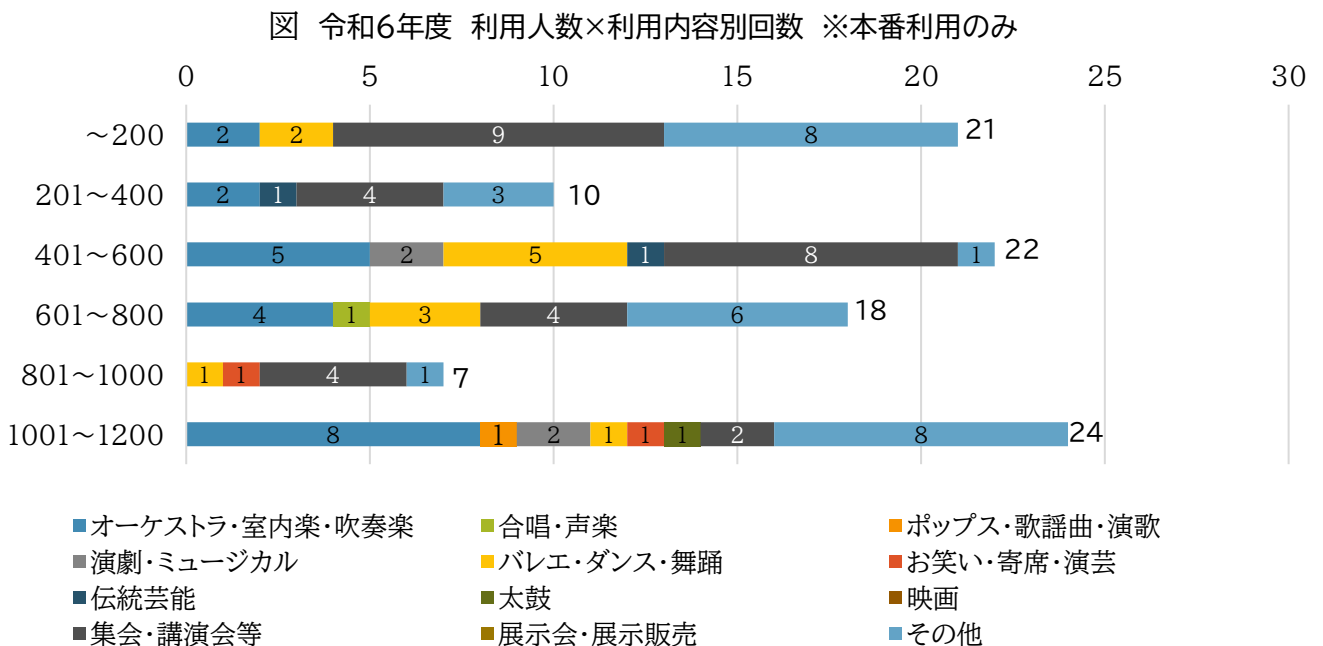
※利用人数が不明の利用は集計から除外しています。



【クロス分析(令和6年度)】

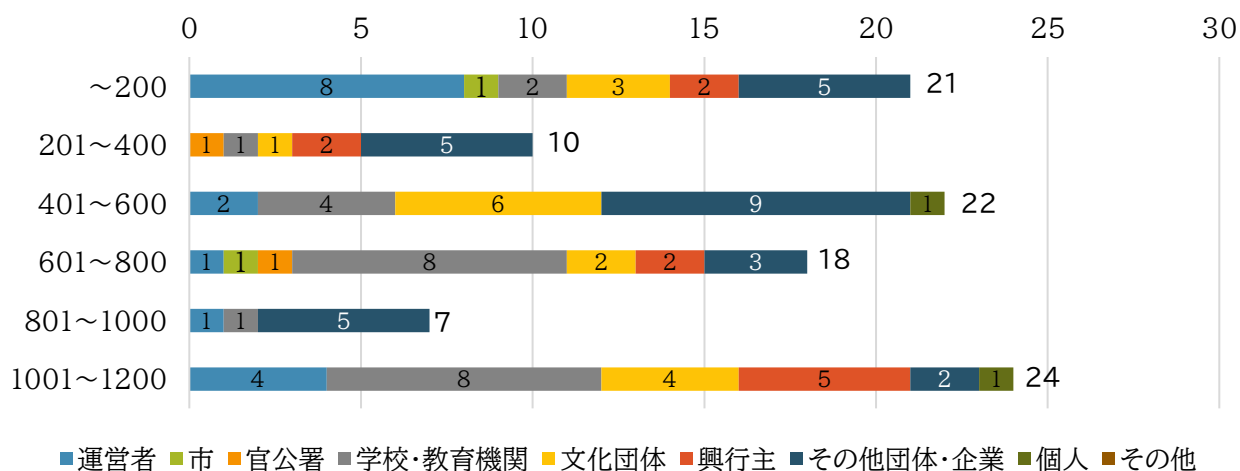
令和6年度の利用実績を「利用人数×利用内容（本番利用のみ）」でクロス分析した結果、「～200人」の小規模な利用の内訳として、「集会・講演会等」と「その他」が多く含まれていることが分かりました。「その他」には自主事業のホール体験事業やバックステージツアー等が挙げられます。

また、「1,001～1,200人」の大規模な利用は「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」と「その他」が多い結果となりました。「その他」には学校の「芸術鑑賞会」が含まれます。



さらに、「利用人数×利用者（本番利用のみ）」でクロス分析した結果、「文化団体」の利用は「401～600人」が最多となり、次いで、「1,001～1,200人」「～200人」が多い結果となりました。一方、「学校・教育機関」の場合は、満席近い利用がみられます。このことから、「文化団体」や「学校・教育機関」の利用は、市民会館のような客席数が求められていることが分かります。

図 令和6年度 利用人数×利用者別回数 ※本番利用のみ



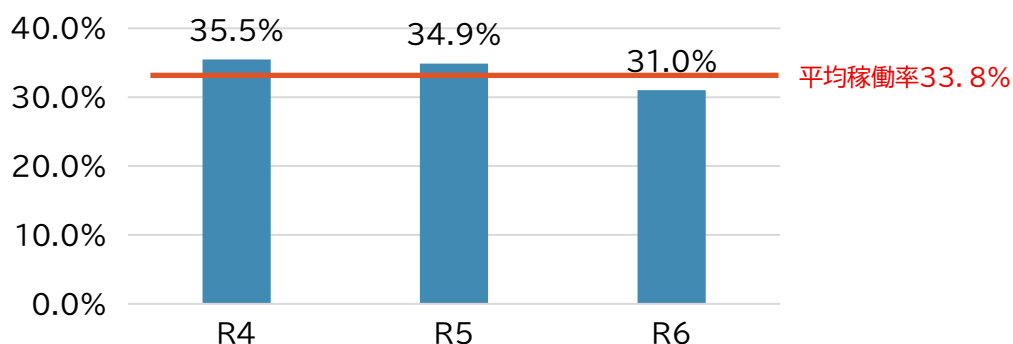
②文化センター

【稼働率】

「令和6年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書(全国公立文化施設協会)」によると、最大ホールが500席以上の平均日稼働率は「54.7%」であることから、全国平均値を下回っている状況です。

文化センターの稼働率が市民会館と比べて低い要因の一つとして、社会教育法(昭和24年法律第207号)第23条により営利、宗教、政治目的での利用が制限されていることが考えられます。

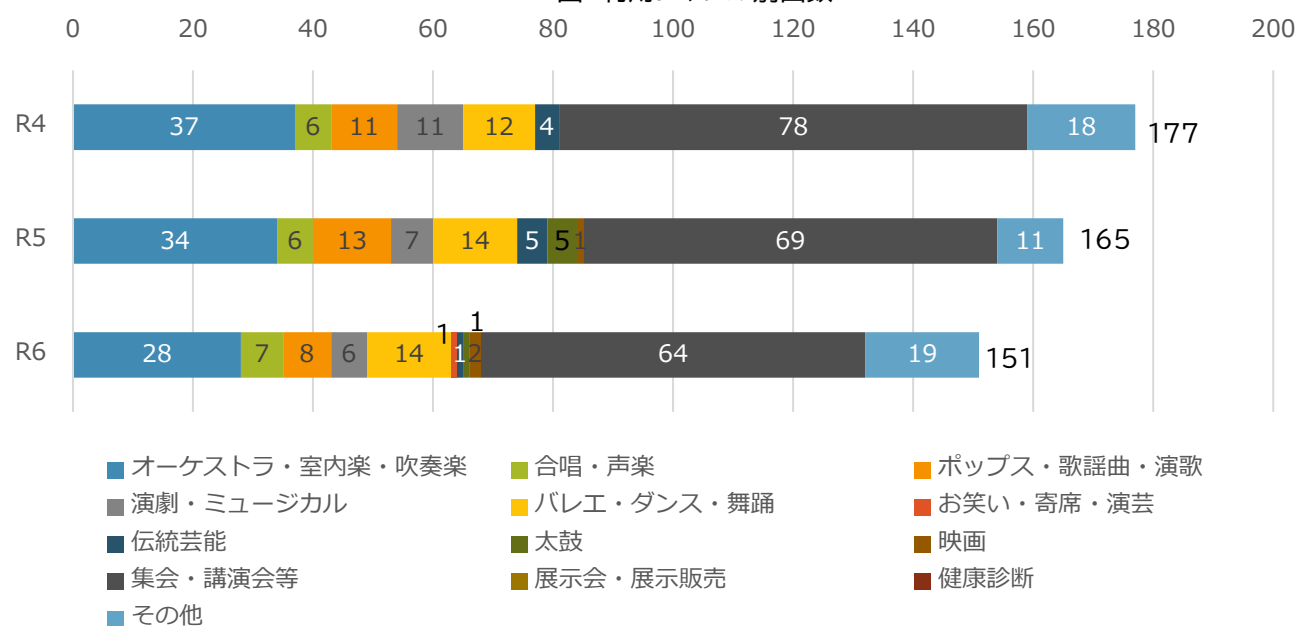
図 日稼働率



【利用ジャンル別】

利用のあったジャンルについては、「集会・講演会等」が最も多く、次いで「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」が多くなっています。「集会・講演会等」には、文化団体や企業の表彰式、総会、説明会などが含まれます。

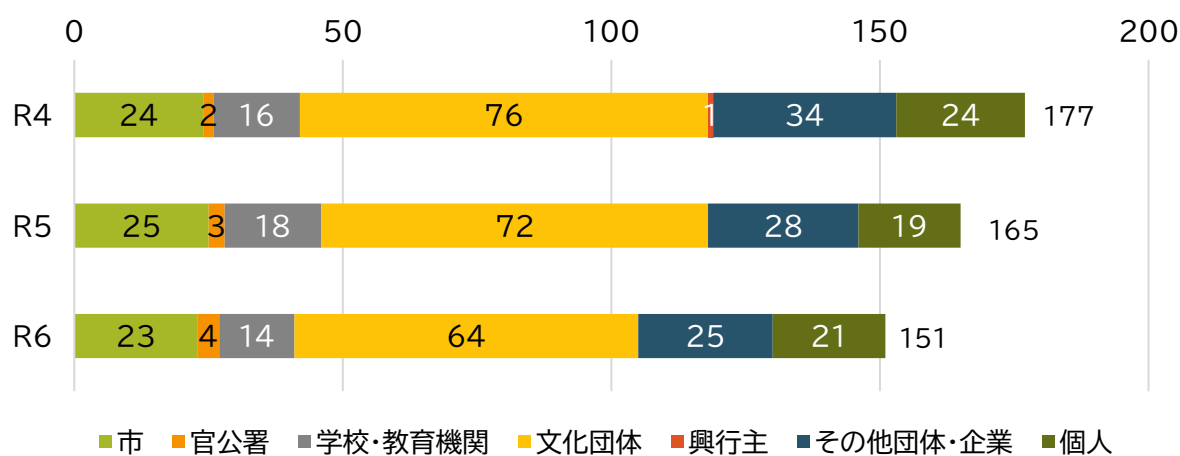
図 利用ジャンル別回数



【利用者別】

利用者ジャンルについては、「文化団体」が最も多く、発表・公演利用の場として定期的に利用されていることがわかります。

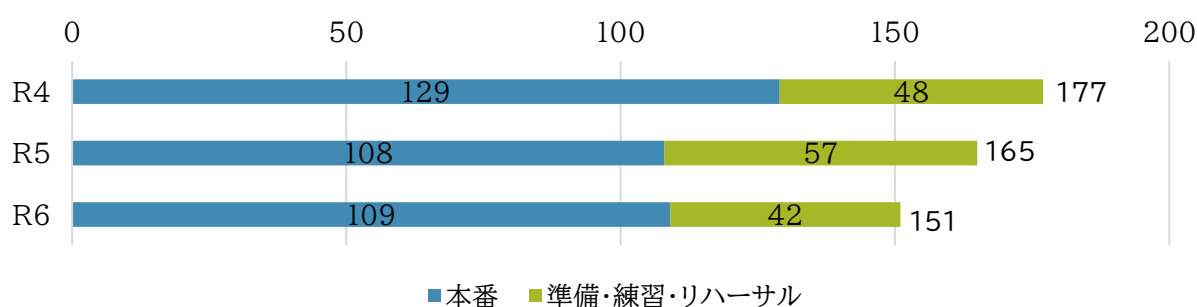
図 利用者ジャンル別回数



【本番、練習】

「本番」利用と「準備・練習・リハーサル」の利用割合を見ると、「本番」の利用が多く、市民会館と比べても本番利用の割合が高くなっています。

図 本番、準備・練習・リハーサル別回数

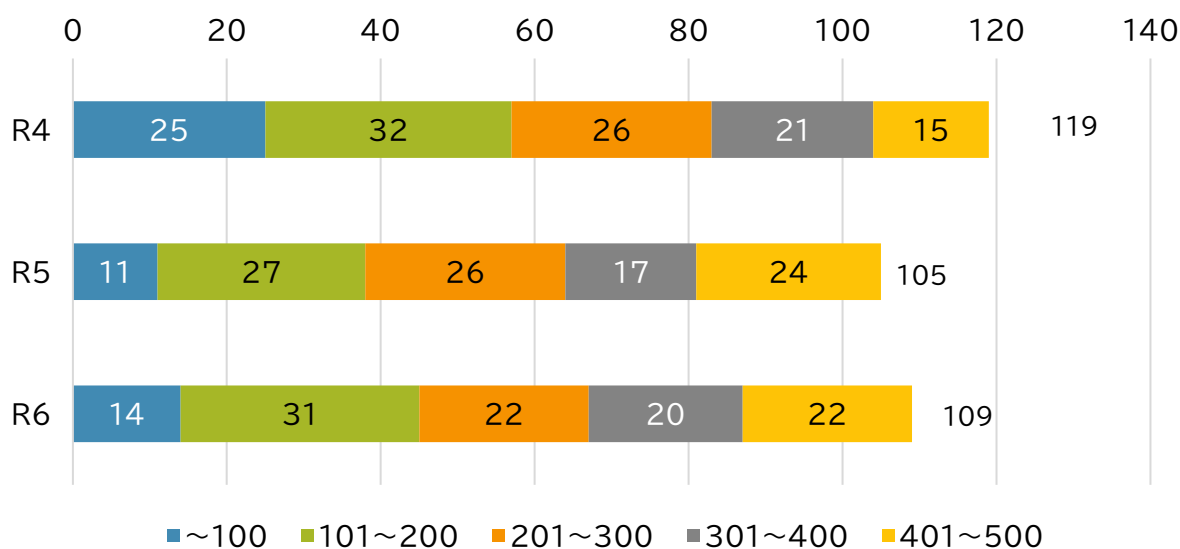


【利用人数】

いずれの年度も「101～200人」が最も多い結果となっていますが、「～100人」から「401～500人」にかけて特定の利用人数に偏ることなく利用されている状況です。

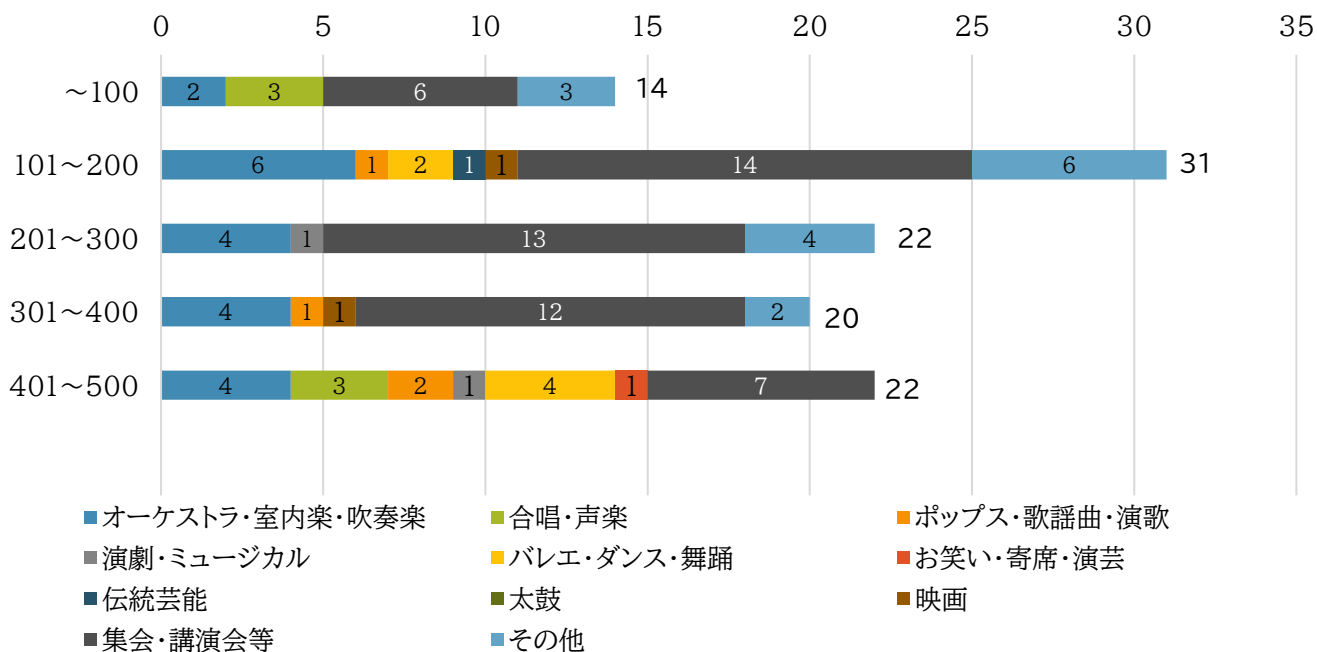
※利用人数が不明の利用は集計から除外しています。

図 利用人数別回数 ※本番利用のみ



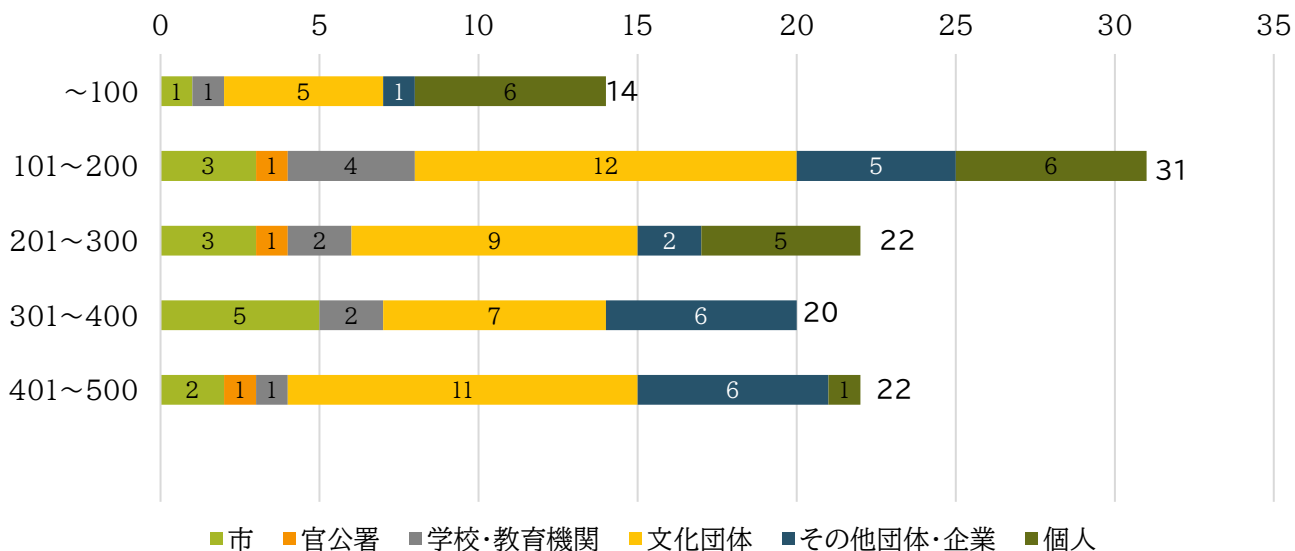
令和6年度の利用実績を「利用人数×利用内容（本番利用のみ）」でクロス分析した結果、「401～500人」の規模では「合唱・声楽」「バレエ・ダンス・舞踊」など、舞台芸術系の利用が多く見られました。一方で、すべての利用人数で「集会・講演会等」の利用が最も多くなっています。

図 令和6年度 利用人数×利用内容別回数 ※本番利用のみ



さらに、「利用人数×利用者（本番利用のみ）」でクロス分析した結果、「文化団体」は「101～500人」まで幅広く利用しており、それぞれの利用者ジャンルで最も多い利用回数であることから、継続的な活動場所として文化センターを選んでいると推察されます。一方、「個人」の利用は「～100人」や「101～200人」に集中しており、ピアノ教室などの発表会利用として多く活用されています。

図 令和6年度 利用人数×利用者別回数 ※本番利用のみ



(2) 利用団体ヒアリング

市内のホールを継続的に利用している団体等計30団体にヒアリングを依頼し、そのうち10団体（音楽5、演劇3、伝統芸能1、その他1）に協力していただきました。

調査期間

令和7年9月17日、18日、24日、25日

◇調査結果

◇日常的な活動の場所について、困っていること

団体ジャンル	主な意見
音楽団体	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に打楽器など大きな音が出せる練習場所が無い。 ・楽器を保管できる場所が無い。 ・桜井公民館は場所が狭く、2階に練習部屋があるため、大型楽器の運搬に困っている。 ・市民会館で練習しているが、音響が良くない。音響の設備が整った大きなホールで練習するのが望ましい。 ・豊田市や刈谷市には、舞台上で練習できるホールがあるが、予約が取りづらく、費用も高いため、市内にも練習場所がほしい。
演劇団体	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は早く閉まってしまうため、仕事終わりに練習する時間が十分に確保できない。 ・時代劇(殺陣)などの通し稽古ができる、天井の高い練習場所が無い。
伝統芸能団体	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は地元の町内会にある練習場を使っている。
その他展示系など	<ul style="list-style-type: none"> ・防音完備でないため、太鼓で大きな音が出せない。 ・琴や絵画の活動で公民館の部屋を利用している。

◇発表・公演の場所について、困っていること

団体ジャンル	主な意見
音楽団体	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のホールはすべて多目的で中途半端なものが多く、音楽に特化したホールがない。 【文化センター】 ・響きが悪く舞台が狭い。 ・楽屋が少ない。 ・階段が多く、子どもに楽器を運ばせるのが怖い。 ・車椅子の来場者の方に不便があった。バリアフリー面で十分な対応ができておらず、困っている。 ・駐車場が狭く、混雑している。 【アンフォーレ】 ・舞台袖が無く、音響が悪い。 ・予約が取りづらい。 ・駐車場が狭くて停めにくい。

演劇団体	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台が狭く舞台幕裏に通路が無いので、下手袖から上手袖に移動もできない。 ・文化センターは舞台袖が狭く、下手に待機する場所が十分でない。 ・昭林公民館やアンフォーレは、規模は丁度良いが舞台袖が無いので用途が限られる。
伝統芸能団体	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターは楽屋が少ないので、会議室を楽屋代わりに使用している。もう少し楽屋があると良い。
その他展示系など	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターの駐車場は区画数が少なく、配置も悪い。

◇市民会館の良い点・悪い点

団体ジャンル	主な意見
音楽団体	<p>【ホール機能について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台サイズは標準的な大きさで使いやすい方であるが、舞台上手袖はもう少し広いと良い。 ・音響が良くないため、生音演奏に向いていない。 ・客席数(1,200席)が大きすぎるため音楽団体にとっては集客が難しい。 ・舞台袖の広さが上手と下手で異なり使い勝手が悪い。 ・舞台袖が狭く、大型楽器が置けない。 ・ホールの空調の効きが悪い。 <p>【その他諸室について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハーサル室を単独で利用したくても、ホールが使われていると借りられない。 ・リハーサル室が2階にあり、エレベーターも狭いため、打楽器等の大きな楽器の運搬ができない。 ・防音性能が低いので、リハーサル室で音出しができない。また、天井が低く音が響きすぎてしまう。 ・和室の楽屋は靴を脱ぐ必要があり不便。洋室が望ましい。 ・開場前の待機場所が屋外である。空調の効くところで待つのが望ましい。 ・トイレは和式と洋式両方が設置されているが、洋式に偏る傾向があり、混雑する。 <p>【運営面について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付帯備品の料金が安い。 ・喫茶店が早めに閉まってしまう。 <p>【駐車場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地が安城駅から少し遠く、駐車場も少ない。 ・市民会館の駐車場は広いが市役所と共同であるため、足りない場合がある。 ・駐車場にバスが停められない。
演劇団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールは客席数が多く、舞台サイズも大きいため、演劇団体には向いていない。 ・会議室は大きな声が出せないため、練習場所としても借りにくい。
伝統芸能団体	<ul style="list-style-type: none"> ・客席数が多すぎる。こじんまりした空間の方がお客さんに間近で見られる。 ・トイレが混雑する。

◇市民会館に適したホール客席数、新たに追加すべき機能

団体ジャンル	主な意見
音楽団体	<p>【ホール機能について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定席(段床型)で、音響の良いホールが良い。 ・子どものためにも音楽専用のコンサートホールが良い。 ・舞台袖が舞台と同じくらいの広さがあると良い。 ・椅子の幅にゆとりを持たせ、親子室や車椅子席を設けたい。 ・1階席と2階席を区分して利用人数に応じて1階席のみでの利用ができるとう良い。 <p>【ホール客席数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,000席規模が良い。 ・1,500～2,000席が良い。 ・音響設備や備品が整った1,200～1,500席の大ホールと、市民が使いやすく質の高い小ホールが備わっていると良い。 ・200～300席規模が良い。 ・舞台袖がしっかりあり、音響が良ければ300席規模がちょうど良い。 <p>【その他諸室について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防音で天井が高く、楽器の搬入が容易なりリハーサル室がほしい。 ・舞台と同じ大きさのリハーサル室があると良い。 ・バンドや吹奏楽が練習できて、楽器が常設されているか、又は保管できる部屋がほしい。 ・打楽器が常設されていると、子どもたちも身近に使用できて良い。 ・パート練習等ができる部屋が大小あると良い。 ・日常的な練習場所や居場所となる部屋・スペースがあると良い。 ・小さなリハーサル室や展示スペースを充実させたい。 ・楽屋は洋室の方が使いやすいが、着替えのスペースは必要。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習後の打合せで利用したり、公演前後に立ち寄れたりするカフェ・飲食スペースがあると便利。 ・駅前かつ新幹線が止まる駅(三河安城駅)が良く、市民だけでなく名古屋や岡崎からも集客できるよう他と差別化した立地が良い。 ・駅直結が一番理想であるが、駅から5～15分の立地でも問題ない。 ・駐車場が隣接しているのが良い。
演劇団体	<ul style="list-style-type: none"> ・200～300席で設備が整った小ホールがほしい。 ・現状と同等規模のホールは必要。加えて50人規模の演劇ができる小劇場がほしい。 ・防音のスタジオや、リハーサルで立ち稽古ができる小ホールがほしい。 ・子どもが気軽に利用出来るスタジオ等、日常的に集える場所がほしい。 ・気楽に公演ができる部屋や畳の部屋があると良い。 ・衣装や小道具など荷物が多いので、練習場にロッカーがほしい。
伝統芸能団体	<ul style="list-style-type: none"> ・100～150席の小ホールが併設されていると良い。 ・市民ギャラリーがあると展示会ができるため人が集まりやすくなる。 ・建物や周りの雰囲気良くなってほしい。公園等があると良い。 ・楽屋が洋室になった場合でも、利用上の不便はない。

団体ジャンル	主な意見
伝統芸能団体	・駐車場が多ければ、駅から少し離れていても良い。
その他展示系など	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール、小ホール、会議室等を兼ね備えた総合的な施設がほしい。 ・芸能発表においては500席規模がちょうど良い。 ・高校生が屋外で気軽にライブが出来るようなスペースがほしい。 ・新築であれば郊外で、市民が訪れやすい場所が良い。 ・駐車場の広さを確保してほしい。 ・高齢化に対応してエレベーターがほしい。

◇市民会館に求める役割・市に求める文化施策

団体ジャンル	主な意見
音楽団体	<p>【市民会館に求める役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館には、市全体の中心地であり発信・育成の場であってほしい。 ・文化育成の旗振り役になってほしい。 <p>【市に求める文化施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動が減少していて子どもの発表の場が無くなっているため、新たなホールでその代替りとなる活動ができると良い。 ・子どもたちがプロの演奏に触れる機会が無い。無料のコンサートはあってもいいが、文化を育てるという視点では、「チケットを購入して聴きに行く」という習慣をつけてほしい。 ・様々な施設を、文化面で支援・援助できる部門が必要。文化的に盛り上がる運営方法を考え、全体を引っ張る力になってほしい。 ・市や市民会館の主催でイベントを企画・開催できると良い。 ・事業をコーディネートしてくれる組織が、市にあってほしい。 ・市内に音楽を楽しむ場が少ない印象。 ・まちづくりを考えた時に、無料エリアにピアノが置いてあり、ロビーコンサートなどができると文化的なまちになると思う。 ・オペラ等一流の団体を呼べる環境が必要。
演劇団体	<p>【市民会館に求める役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事終わりにも練習できるよう、利用時間に幅があると良い。 <p>【市に求める文化施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものをサポートできるコンシェルジュのような集約した窓口や、問合せ、紹介に対応してくれる機関がほしい。
その他展示系など	<p>【市民会館に求める役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館が日常的に訪れる場所、親しみやすい場所となってほしい。 <p>【市に求める文化施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を取り込むためにも、各団体を統括(コーディネート)できる部門がほしい。 ・伝統を守りながら新しいことに取り組みたい。 ・団体の存続のためにも、若い人に古典芸能に親しみを持ってもらいたい。

(3) 利用団体アンケート

市内のホール施設（市民会館、文化センター、アンフォーレ、昭林公民館）を日頃から利用している団体を対象に、活動状況や現状の課題、ニーズなどを把握することを目的としたアンケートを実施しました。

①調査対象

188団体

②調査期間

令和7年8月4日～令和7年8月29日

③回収率

回収率47.9%(回収件数90件)

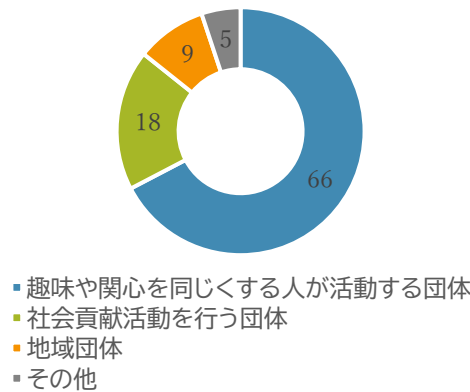
◇調査結果

①団体の活動状況

【団体の組織形態】

団体の組織形態については、「趣味や関心を同じくする人が活動する団体」が最も多く、過半数を占める結果となりました。「その他」には、音楽教室や企業による利用のほか、個人の練習利用などが含まれます。

図 団体の組織形態(n=98)【複数回答可】

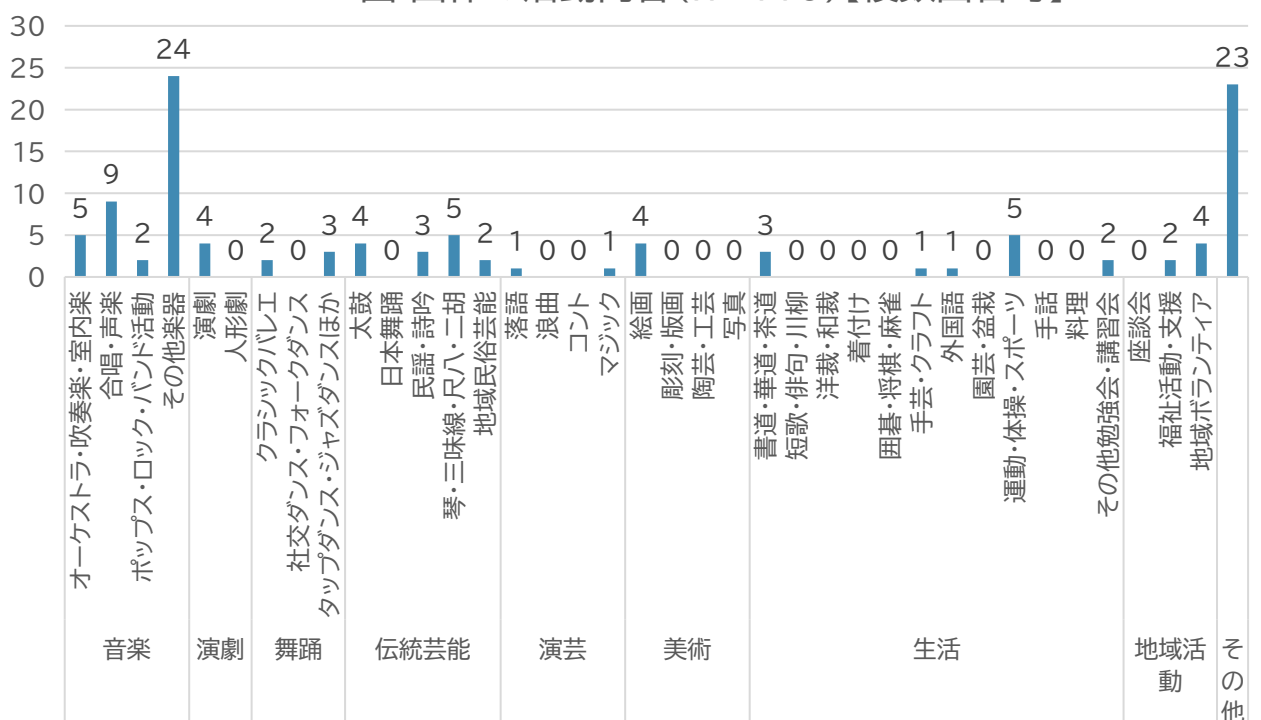


【活動内容】

活動内容として最も多い分野は「音楽」であり、中でも「その他楽器」が最も多い結果となりました。「その他楽器」には、ピアノ、ギター、オルガン等が含まれます。オーケストラや室内楽等よりも、規模の小さい活動が多いことが分かります。

また、次に多いのが「その他」であり、展示会や説明会などの企業イベントや、教育支援の活動など、内容は多岐にわたります。

図 団体の活動内容(n=110)【複数回答可】



【会員数・年齢層】

会員数については、「21～30人」の団体が最も多くを占めていますが、「10人以下」の小規模団体や、「51～100人」の中規模団体、さらには「301人以上」の大規模団体も一定数存在しており、全体として満遍なく分布していることがわかります。

また、会員の年齢層については、「65歳以上」の会員が圧倒的に多く、次いで「40～64歳」が多い傾向にあります。

図 会員数(n=81)

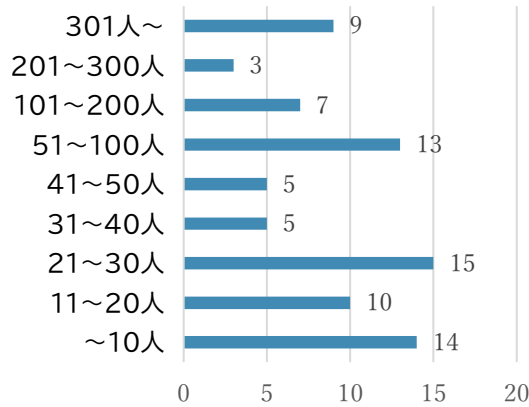
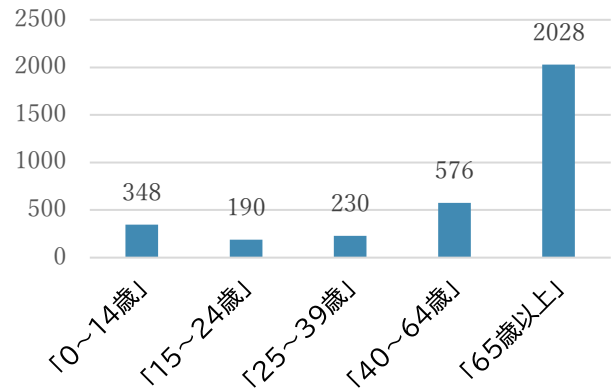


図 会員数・年齢層(n=3,372)



【他団体との交流】

他団体との交流については、「ある」と回答した団体の方が「ない」と回答した団体よりも若干多い結果となりました。

「ある」と回答した団体について、その交流内容は「公演・発表・展示などを共同開催する」と、「メンバー同士の交流や情報交換がある」が多くを占めており、日常的なつながりやイベントを通じた交流が多いことがわかります。

また、「ない」と回答した団体において、その理由については「交流を行う必要がない」が最も多い一方で、「交流を行う機会や場所がない」といった現状も明らかになりました。

図 他団体との交流有無(n=88)

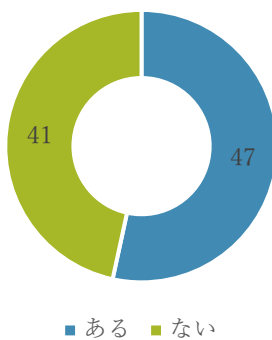


図 他団体との交流内容(n=76)【複数回答可】

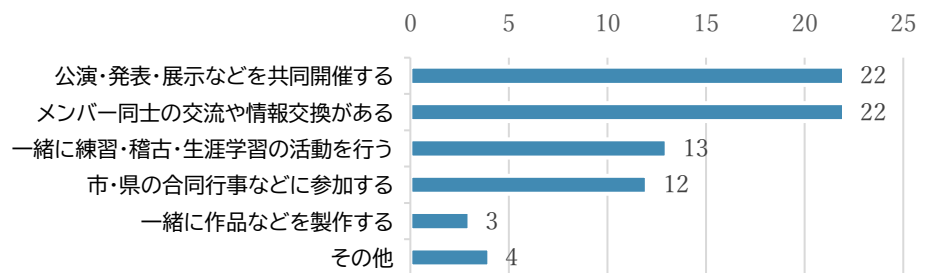
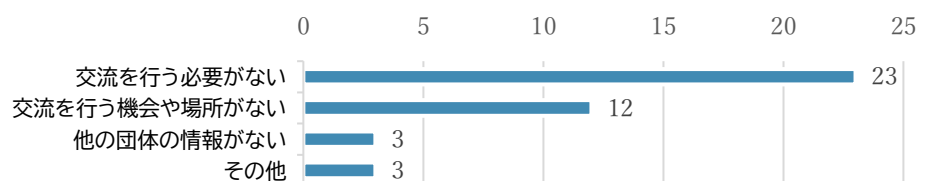


図 他団体と交流しない理由(n=41)【複数回答可】

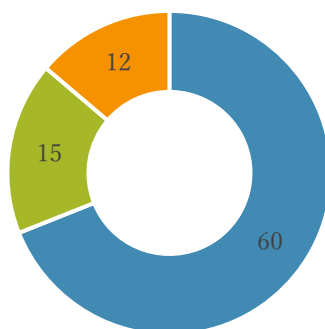


②練習・稽古・創作・会議などの日常的な利用について

【活動時期】

「一年中活動している」団体が多い一方で、「活動は不定期である」団体や「時期を限定して活動している」団体も一定数あることが分かります。

図 活動時期(n=87)

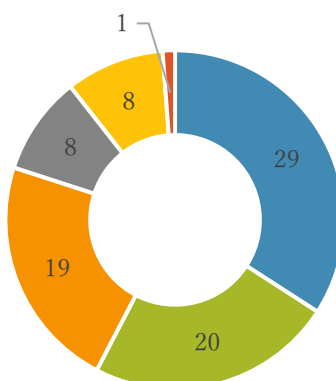


- 一年中活動している
- 活動は不定期である
- 時期を限定して活動している

【活動頻度】

過半数の団体が週に1～2日以上は定期的に活動を行っているとうかがえます。その中でも「週に2日以上活動している」団体が最も多いことが分かります。次いで多いのが「年に1～数回活動している」であり、イベントがある都度の活動など、不定期な活動を行う団体もいるとうかがえます。

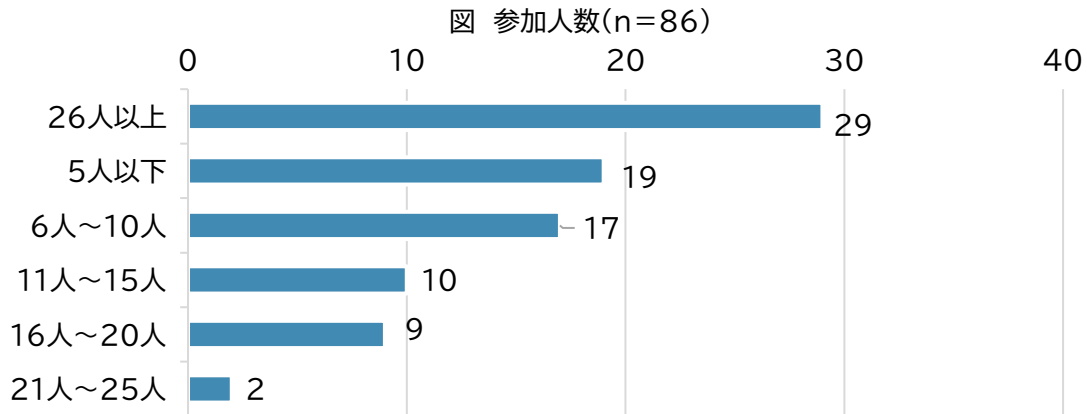
図 活動頻度(n=85)



- 週に2日以上活動している
- 年に1～数回活動している
- 週に1日程度活動している
- 月に2日程度活動している
- 月に1日程度活動している
- その他

【参加人数】

「26人以上」で利用する団体が最も多い結果となり、一定の規模での活動が行われていることが分かります。

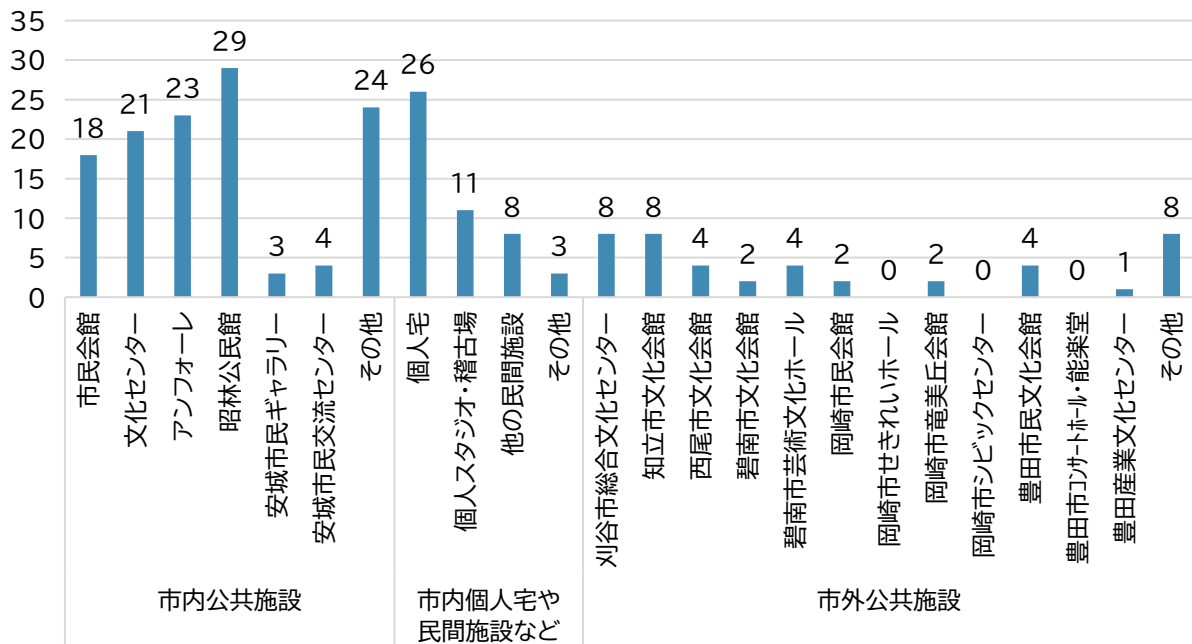


【活動場所】

活動場所として、市内公共施設で最も利用が多いのが、「昭林公民館」でした。「市民会館」は、施設の具体名を挙げた中では4番目に多い結果となりました。また、「その他」には、「桜井公民館」や「総合福祉センター」などの名前が挙がっています。

また、「個人宅」で活動する団体も一定数見られ、主にピアノ等の音楽教室が該当しています。さらには、市外の公共施設の利用も一定数あることがうかがえます。

図 活動場所(n=213)【複数回答可】



【団体ジャンル×活動場所】

団体のジャンル別でみると、「音楽」「伝統芸能」「生活」ジャンルの団体は、市内各地のさまざまな施設で活動していることが分かります。特に「音楽」ジャンルは、昭林公民館や個人宅での活動が目立ちます。

一方で、「演劇」や「美術」ジャンルの活動は、市内のホールのある施設での実施が少ない傾向にあります。これらのジャンルに適した施設が、市内では特に限られているといえます。

また、市外においても同様に「音楽」ジャンルの団体の利用が多いですが、「その他」ジャンルの団体の活動も目立ちます。

図 団体ジャンル×市内活動場所(n=170)【複数回答可】

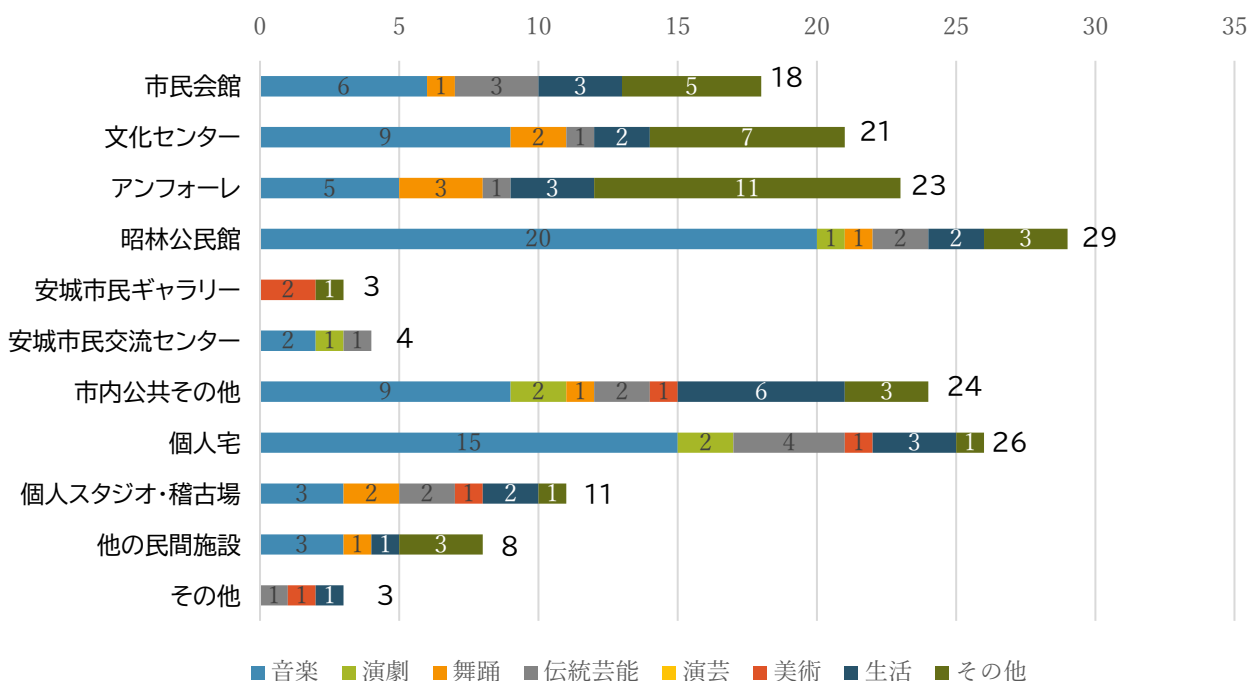
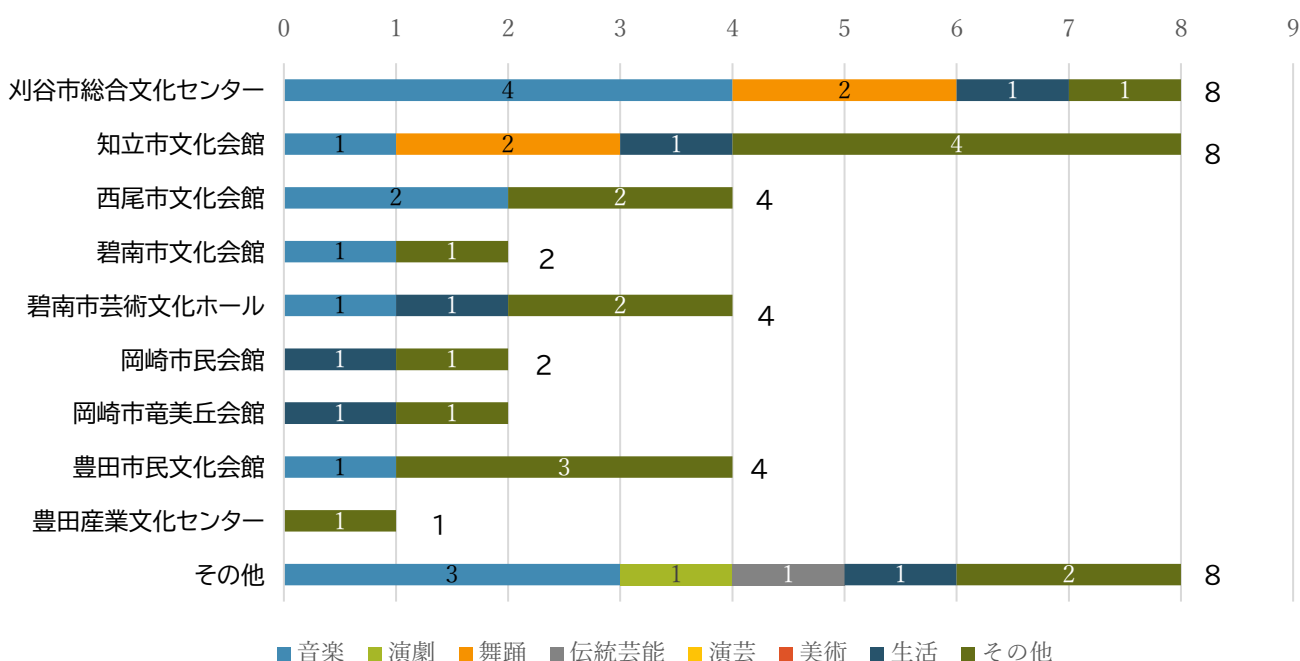


図 団体ジャンル×市外活動場所(n=43)



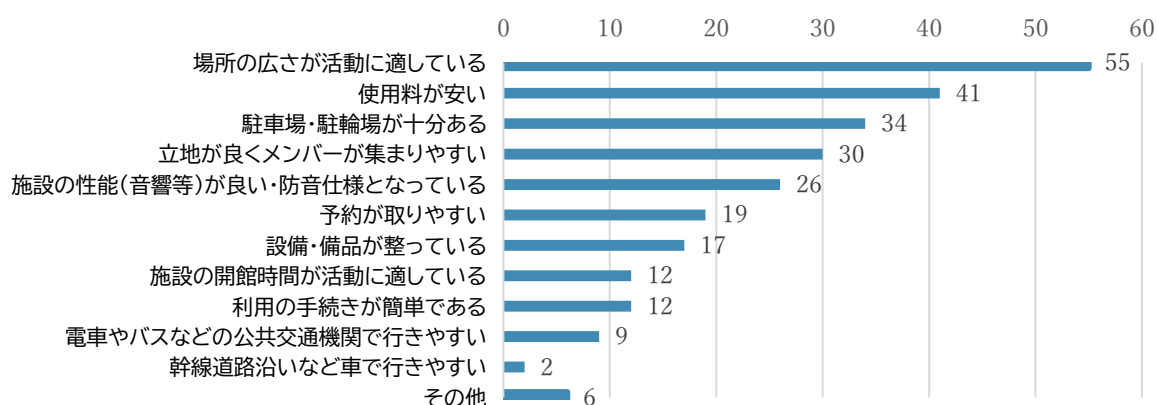
【活動場所で重視すること】

活動場所で重視していることで最も多いのが、「場所の広さが活動に適している」ということでした。これには55団体が回答しており、活動内容に応じたスペースの確保が求められていることがうかがえます。

次いで多いのが、「使用料が安い」、「駐車場・駐輪場が十分ある」ということでした。活動場所には車や自転車で訪れる団体が多く、特に「65歳以上」の会員が多くいることも踏まえると、駐車スペースの有無は活動参加のしやすさに直結していることがうかがえます。

「その他」の意見として、「理想のスペックを持つピアノの有無」や「搬入のしやすさ」、「職員・スタッフの対応の良さ」、「施設周辺の治安の良さ」などが挙がっています。各団体が様々な視点で活動場所を選択していることが分かります。

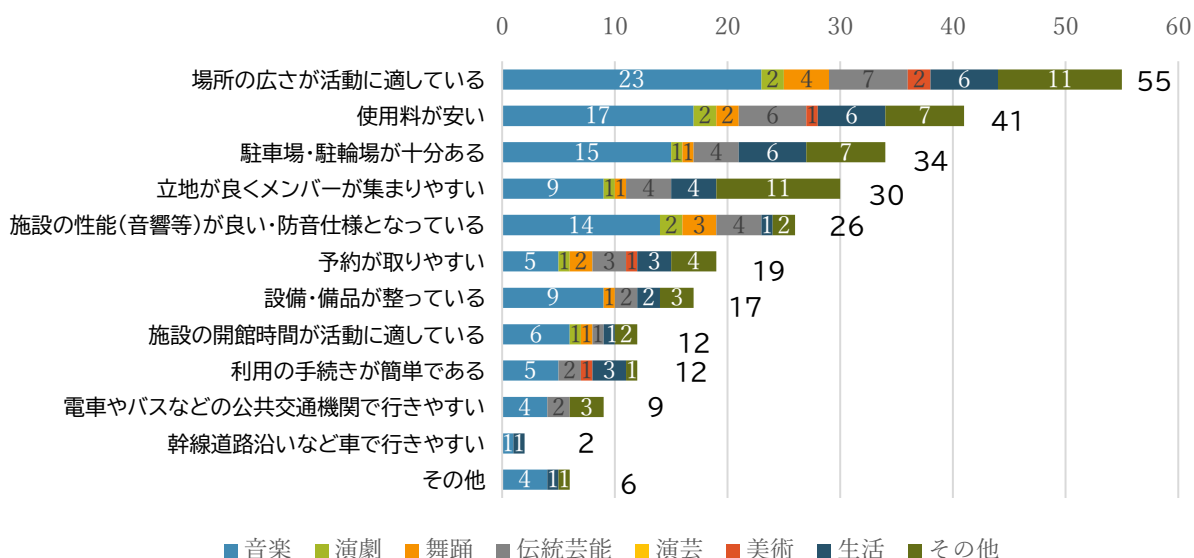
図 活動場所で重視すること(n=263)【複数回答可】



【団体ジャンル×活動場所で重視すること】

団体のジャンル別に見ると、活動場所に関して最も重視されていたのは「場所の広さが活動に適している」であり、次いで「使用料が安い」という意見が多く挙げられました。これらの点はすべてのジャンルで共通して求められており、特に「音楽」ジャンルの団体でその傾向が顕著に見られます。

図 団体ジャンル×活動場所で重視すること(n=263)

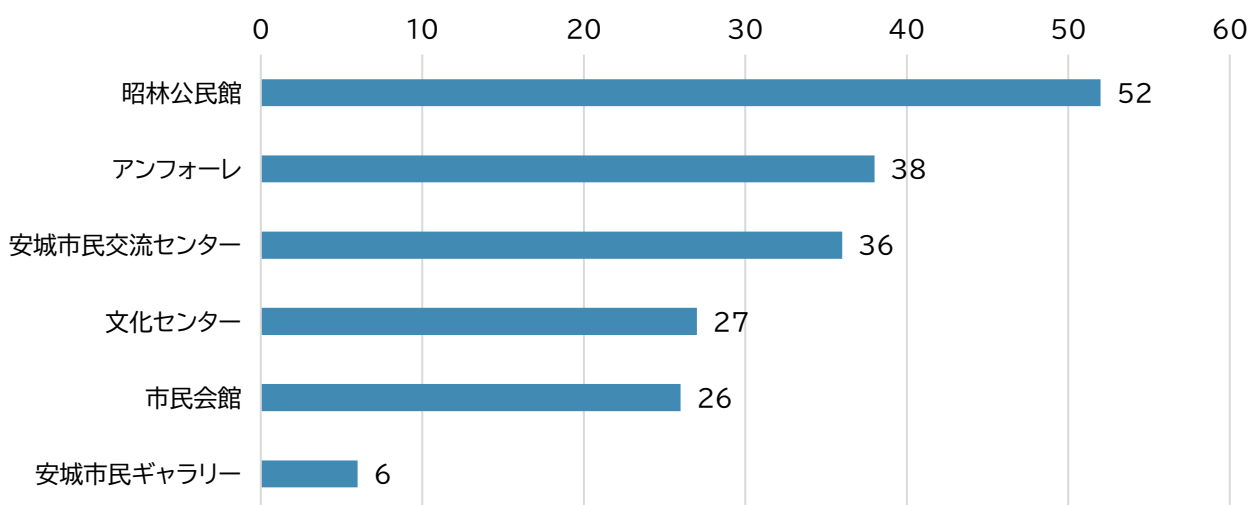


③発表・公演・展示などのイベント利用について

【発表・公演・展示などを行う場所について】

発表・公演・展示などを行う場所は、「昭林公民館」の「ホール」が最も多い結果となりました。「市民会館」は26団体が利用しており、そのほとんどが「ホール」の利用ですが、「ホワイエ」、「和室」、「その他会議室等」の利用もあったと回答がありました。また、「リハーサル室」や「展示室」の利用はありませんでした。

図 発表・公演・展示などを行う場所(n=185)【複数回答可】

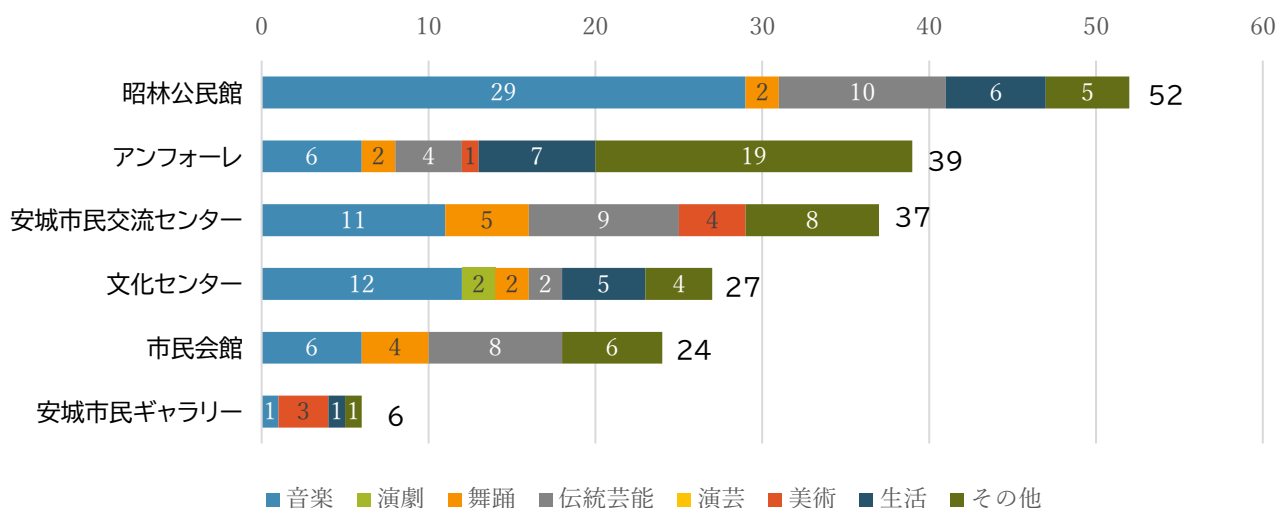


【団体ジャンル×発表場所について】

発表場所として最も利用されている昭林公民館では、「音楽」ジャンルの利用が最も多い結果となりました。昭林公民館の規模が「音楽」の発表に適していると推察されます。次いで利用の多いアンフォーレでは、「その他」のジャンルの利用が多い傾向にあります。

一方で、「演劇」ジャンルの団体が利用している会場は文化センターのみであり、演劇の発表に適した会場は限られていることがうかがえます。

図 団体ジャンル×発表場所(n=185)



【出演者数・入場者数】

出演者数は「10人以下」が最も多く、次いで「11～30人」と少人数の出演が多いことが分かります。

入場者数については、「100人以下」の発表・公演が最も多く、比較的小規模なイベントが多い傾向がみられます。一方で、「1,001人以上」の大規模な発表・公演も一定数見られ、多くの来場者を想定した催しに対する需要も存在していることが分かります。

図 発表・公演・展示などの出演者数(n=156)【複数回答可】

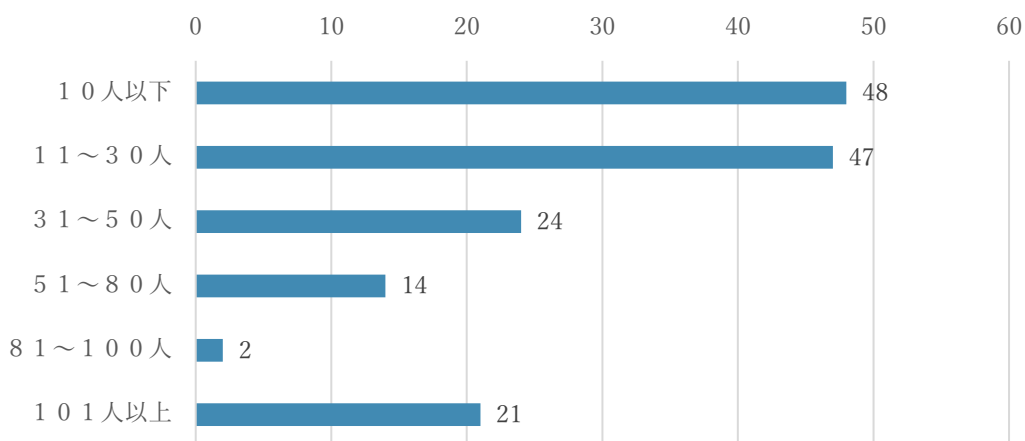
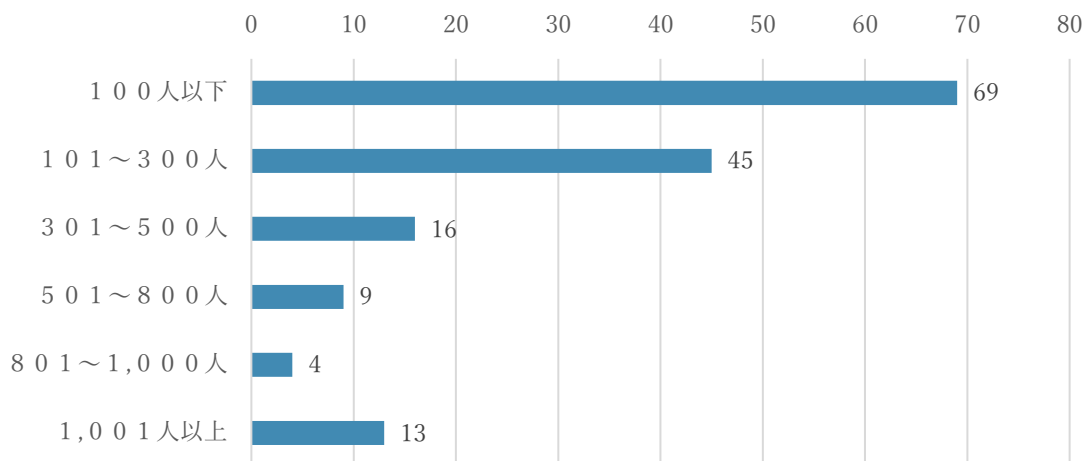


図 発表・公演・展示などの入場者数(n=156)【複数回答可】



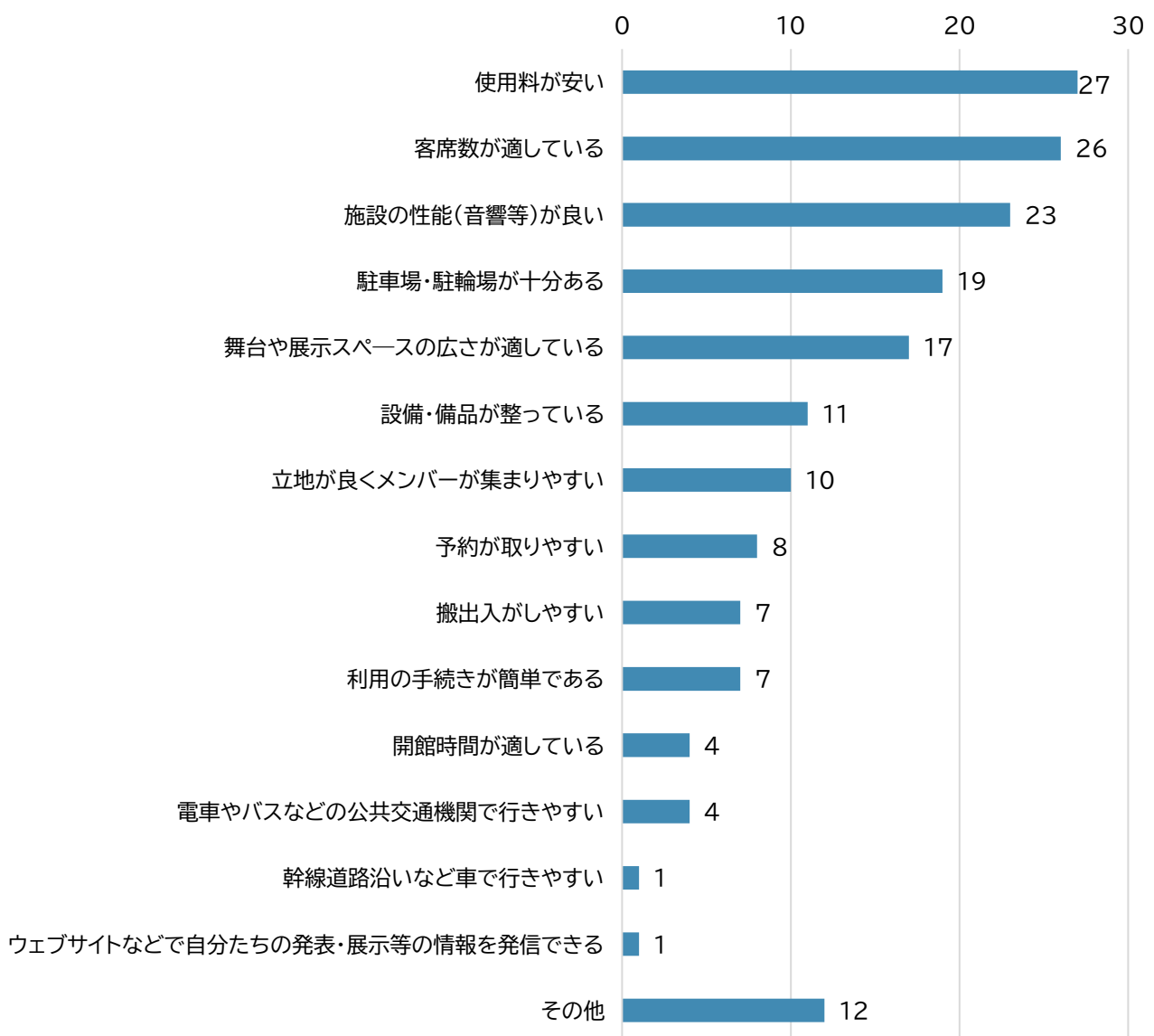
【発表・公演・展示などを行う場所で重視すること】

発表・公演・展示などを行う場所で重視することとして最も多いのが「使用料が安い」ことでした。活動場所においても同様に多くの団体が重視していたように、団体の継続的な活動には、経済的な負担の少なさが重要な要素であることがうかがえます。

「使用料が安い」とほぼ同数で、「客席数が適している」ことであり、次いで「施設の性能(音響等)が良い」ことが多いと分かります。このように、実際の活動内容や観客動員数に見合った会場の選定にも重きを置いていることが示されています。

「その他」の意見として、「舞台裏の動線」や「職員とのコミュニケーションの円滑さ」、「施設周辺の環境の良さ」を重視する等の意見が挙がっています。

図 発表・公演・展示などを行う場所で重視すること(n=177)【複数回答可】

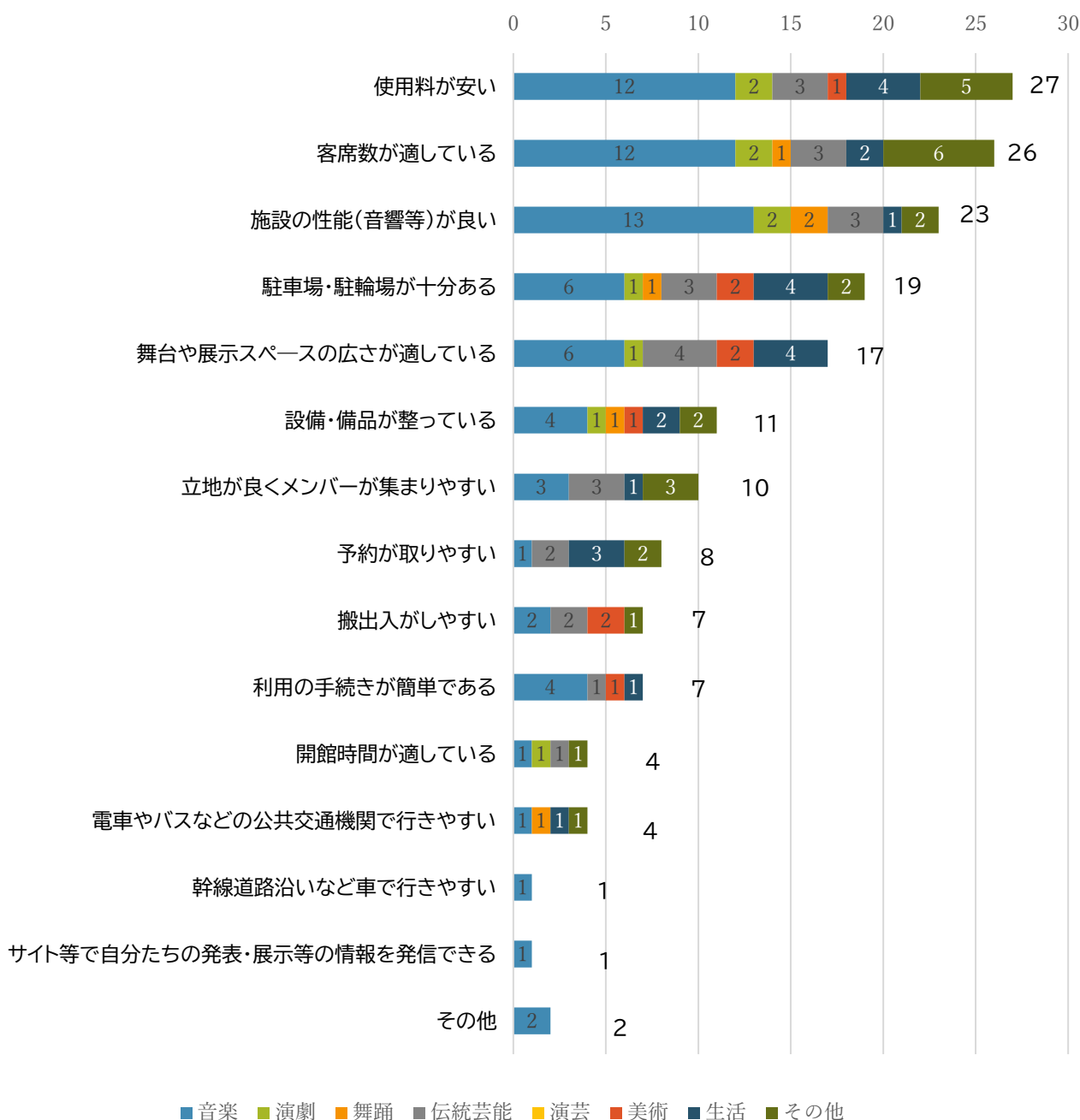


【団体ジャンル×発表場所で重視すること】

「音楽」や「舞踊」ジャンルの団体から、重視している条件として最も多くの声が挙がったのが「施設の性能(音響等)が良い」ことであり、ホールの性能が整った施設のニーズが高い傾向にあるといえます。

また、「美術」ジャンルの団体は、「駐車場・駐輪場が十分ある」、「舞台や展示スペースの広さ」、「搬出入がしやすい」ことを重視する傾向がみられます。このことから、ホールに限らず展示室などに創作物等を容易に搬出入でき、それを効果的に展示できる環境を確保することも求められていると推察されます。

図 団体ジャンル×発表場所で重視すること(n=167)



④市民会館について

【市民会館の利用の有無】

市民会館を「利用したことがない」団体が「利用したことがある」団体の2倍以上を占めていることが分かります。

利用施設について見ると、「ホール」の利用が最も多いものの、「楽屋・リハーサル室」や「会議室」も同程度利用されていることが分かります。

また、市民会館における活動内容については、「発表・公演・展示利用」が最も多い結果となりました。

図 市民会館の利用の有無
(n=89)

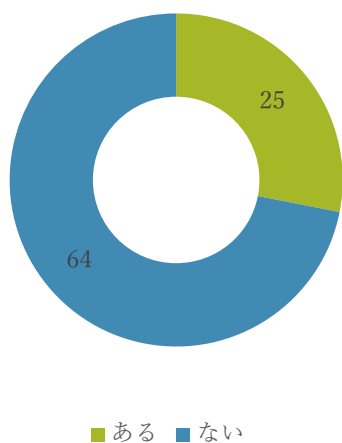


図 市民会館で利用したことのある施設(n=62)
【複数回答可】

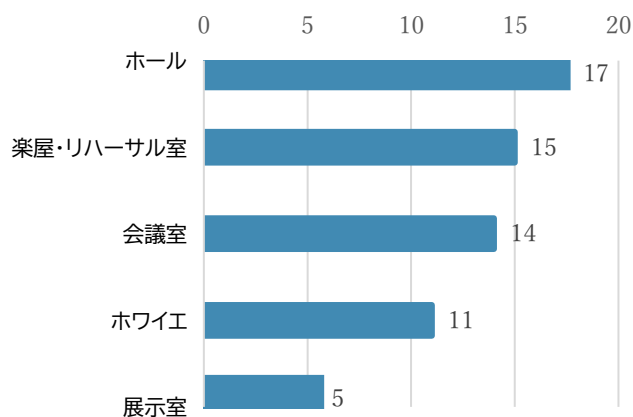
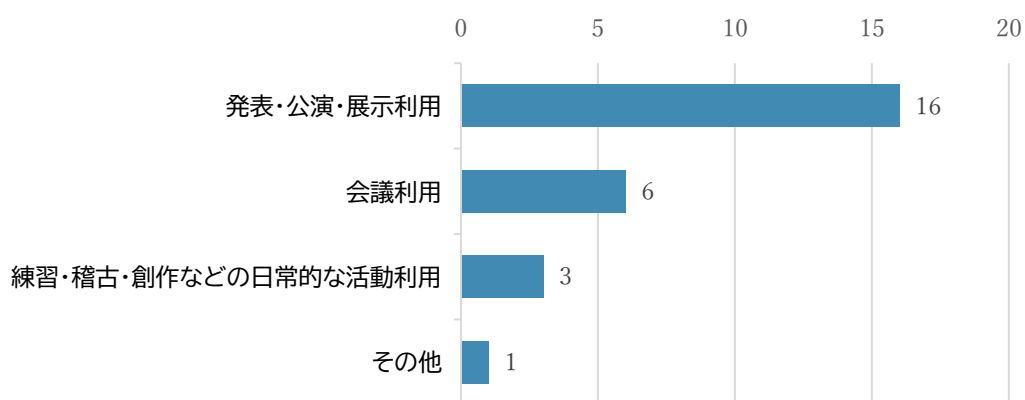


図 市民会館での活動内容(n=26)【複数回答可】



【満足度】

市民会館を利用したことがある団体のうち、現在の施設に「満足していない」と回答した団体は、「満足している」と回答した団体よりも若干多い結果となりました。

満足していない理由として最も多かったのは、「施設の性能（音響等）が良くない」という点であり、施設の機能や設備が十分でないことが、満足度を下げる主な要因となっていることがうかがえます。

次いで多かった理由は「使用料が高い」ということでした。前述したように、活動や発表の場を選ぶ際に、経済的な負担の少なさが重視されているとかがえることから、使用料については多くの団体にとって重要な関心事であるといえます。

また一方で、「立地が悪くメンバーが集まりにくい」や「幹線道路沿いで渋滞があるなど、車で行きにくい」という意見はなく、立地に関する不満は少ないと言えます。

「その他」の意見としては、「動線が良くない、老朽化している」といった声が寄せられており、施設全体の使い勝手や老朽化への課題意識もあることが分かります。

図 満足度(n=25)

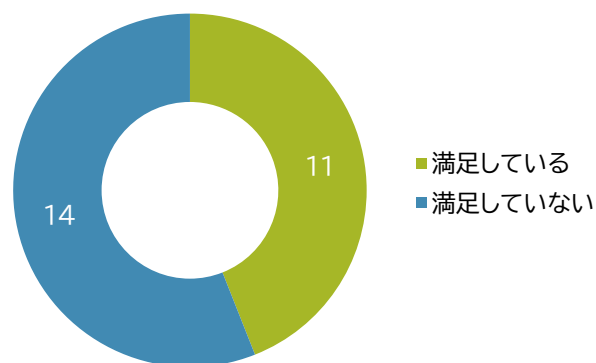
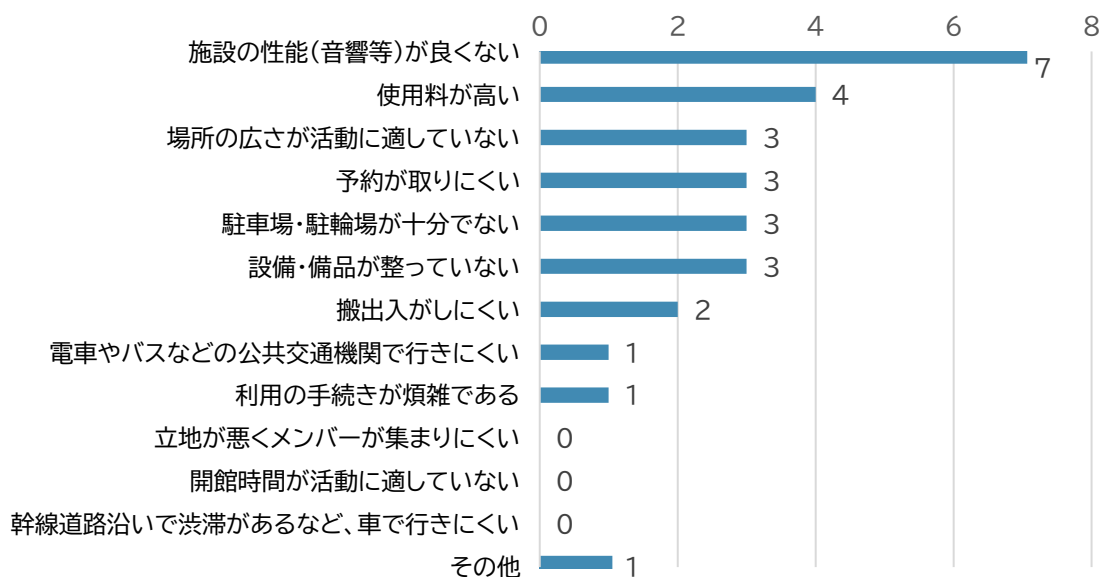


図 満足していない理由(n=28)【複数回答可】

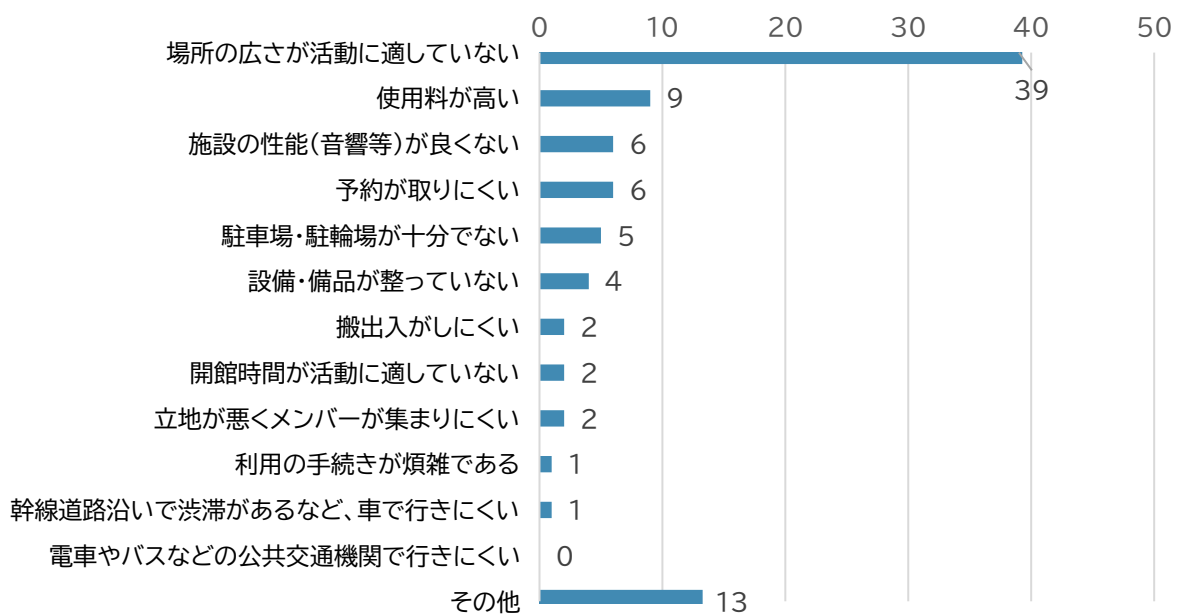


【利用しない理由】

市民会館を利用したことが「ない」理由として圧倒的に多かったのが、「場所の広さが活動に適していない」ことでした。「その他」の自由記述欄にも、「客席数が多く、現在の活動内容に対して規模が大きい」と回答した団体が複数あり、活動内容によっては市民会館の規模が大きすぎるということが明らかとなりました。

また、「電車やバスなどの公共交通機関で行きにくい」や「立地が悪くメンバーが集まりにくい」という意見が少ないことから、市民会館へのアクセスや立地に不満がある団体は少ないといえます。

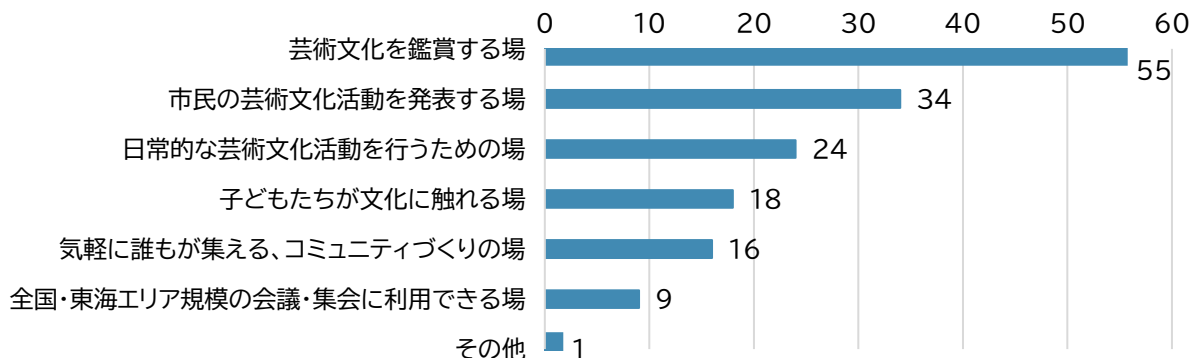
図 利用しない理由(n=90)【複数回答可】



【必要な役割・ホールタイプ】

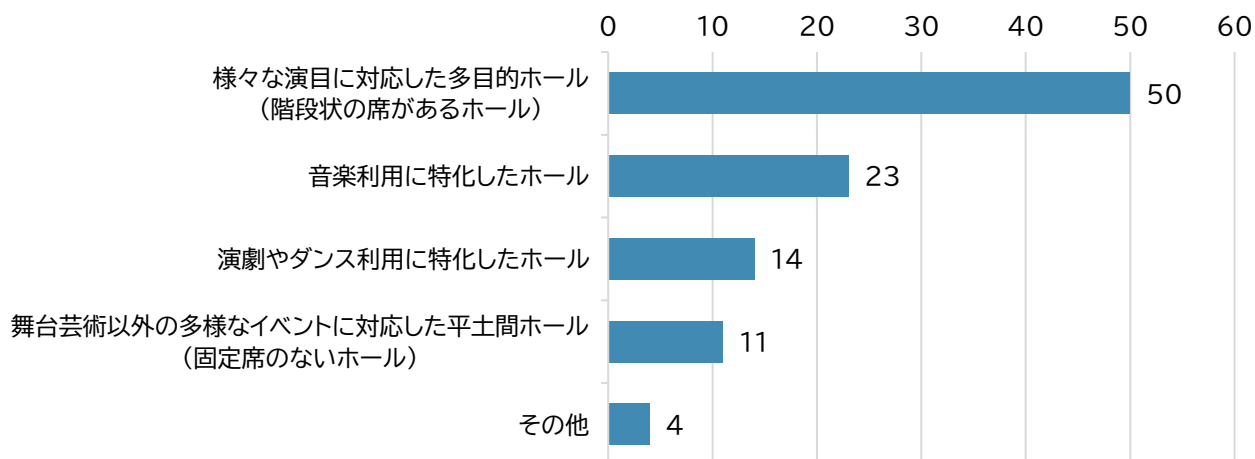
市民会館に必要な役割として最も多かったのは「芸術文化を鑑賞する場」でした。発表や活動を行う場としてだけでなく、それを鑑賞する場として市民会館が機能するべきと考えている団体が多くいるとみられます。

図 必要な役割(n=157)【複数回答可】



市民会館のホールタイプとしては、「様々な演目に対応した多目的ホール（階段状の席があるホール）」が最も多く求められていることが分かりました。一方で、音楽や演劇に特化したホールを必要とする声や、展示会や講演会を行う団体からは平土間の固定席のないホールを求める声もあり、団体ごとに用途に適したホールが求められていることが明らかになりました。

図 必要なホールタイプ(n=102)【複数回答可】

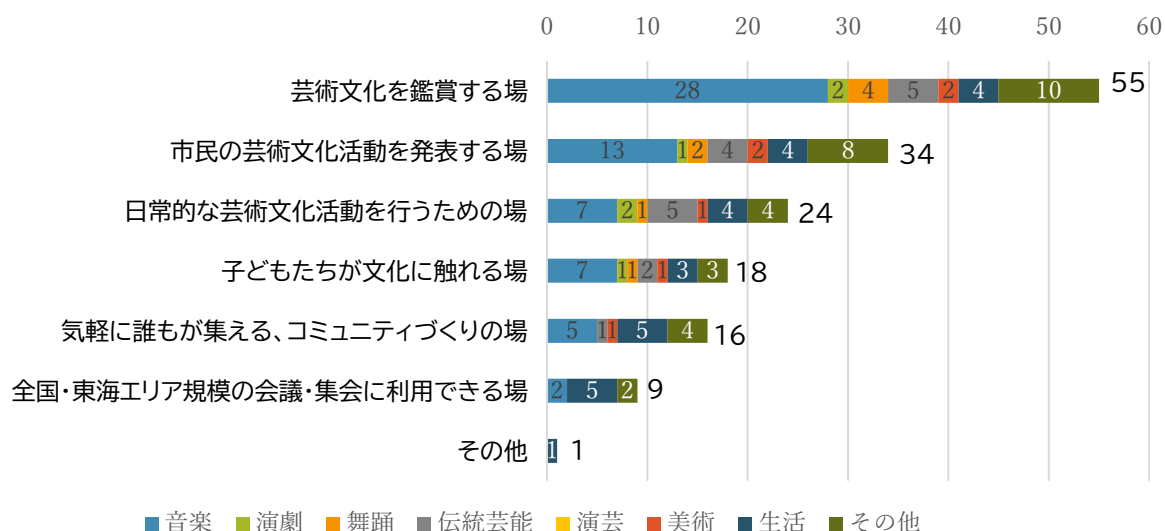


【団体ジャンル×必要な役割】

市民会館に必要な役割として、「芸術文化を鑑賞する場」「市民の芸術文化活動を発表する場」「日常的な芸術文化活動を行うための場」「子どもたちが文化に触れる場」は、すべてのジャンルの団体から必要とされており、市民会館が文化の循環を支える多機能な拠点として求められていることが明らかになりました。

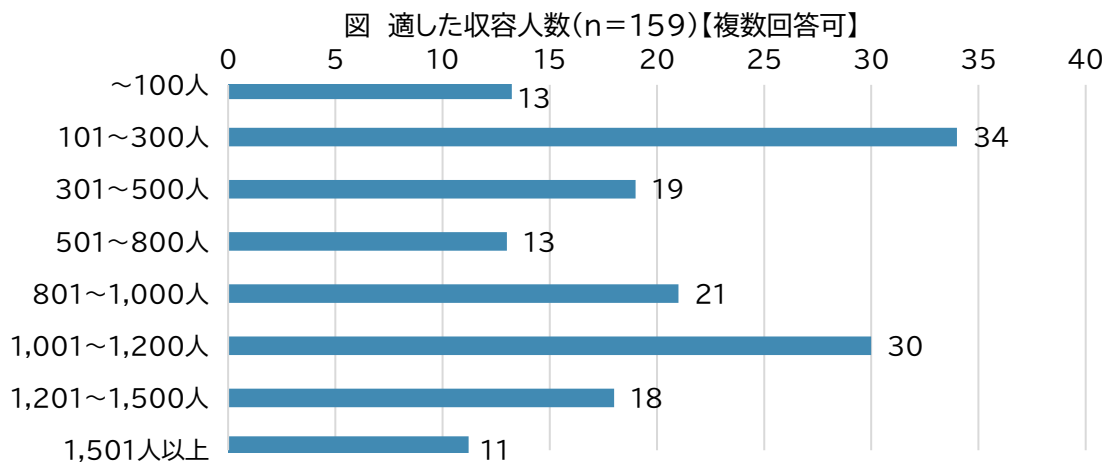
一方で、「生活」ジャンルの団体では、「気軽に誰もが集えるコミュニティづくりの場」や「全国・東海エリア規模の会議・集会に利用できる場」を必要とする団体が多く、活動を通じた交流や地域とのつながりを重視する傾向がうかがえます。

図 団体ジャンル×必要な役割(n=157)



【適したホールの収容人数】

市民会館には、「1,001～1,200人」の大ホール及び「101～300人」の小ホールを併設する構成が求められている傾向がみられました。

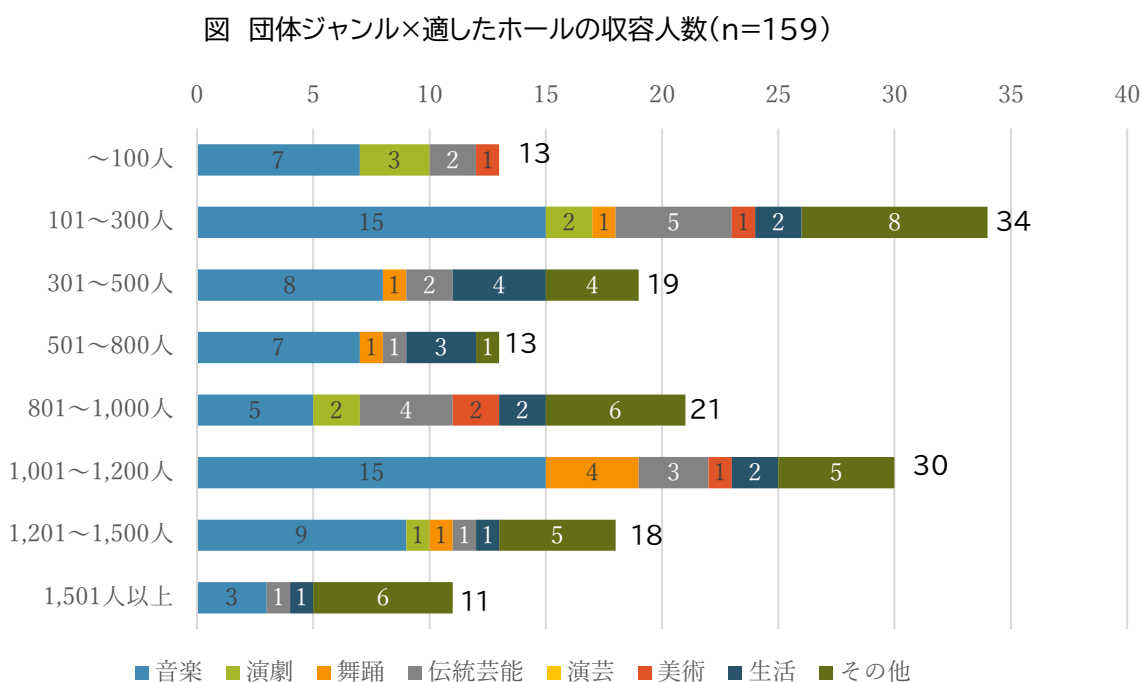


【団体ジャンル×適したホールの収容人数】

市民会館に適したホール収容人数について、「音楽」ジャンルの団体からは「～100人」から「1,501人以上」まで幅広く希望が挙がっています。中でも「101～300人」と「1,001～1,200人」の収容人数を希望している団体が多いです。

続いて「演劇」や「伝統芸能」ジャンルの団体は「～100人」や「101～300人」の小規模な空間を求めている声が多いことがわかります。これは「臨場感のある公演」や「採算のとりやすさ」を重視しているためと推察されます。

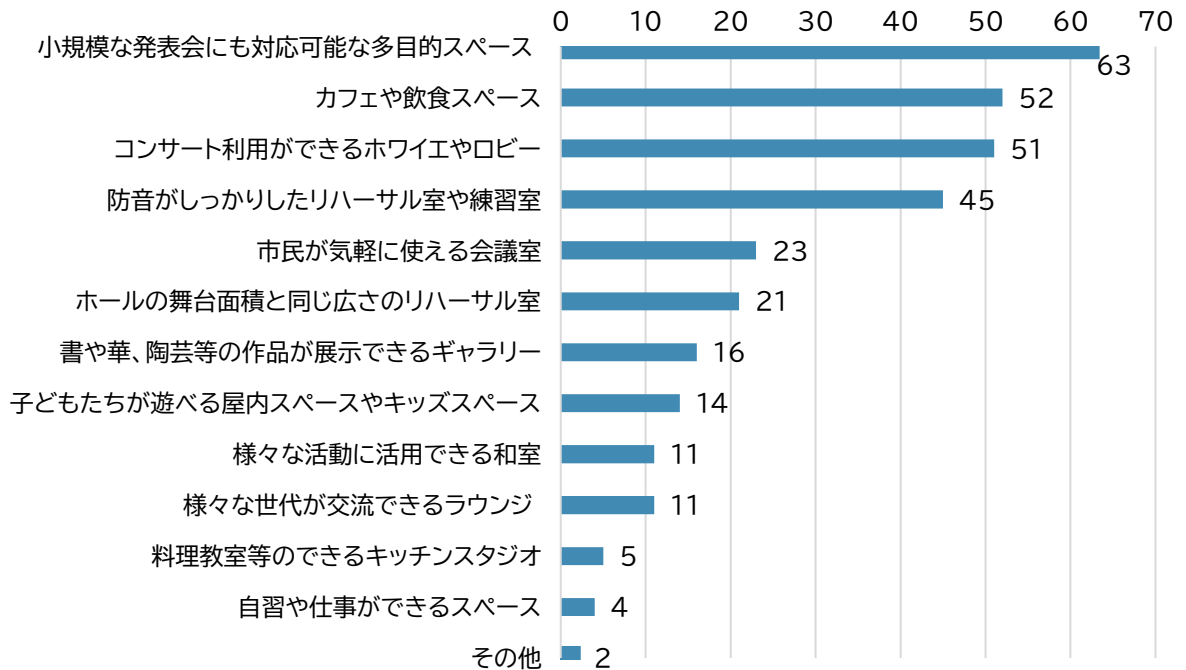
一方、「舞踊」ジャンルでは「1,001～1,200人」の収容規模が適しているとする団体が多いことがわかります。



【併設してほしい機能】

市民会館に併設してほしい機能としては、「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」が最も多く挙げられました。次いで、「カフェや飲食スペース」の要望が多く、発表や活動の合間に利用できる休憩の場としての機能も重視されていることが分かります。また、「コンサート利用ができるホワイエやロビー」や「防音がしっかりしたりリハーサル室や練習室」も求められていることが分かります。

図 併設してほしい機能(n=318)【複数回答可】

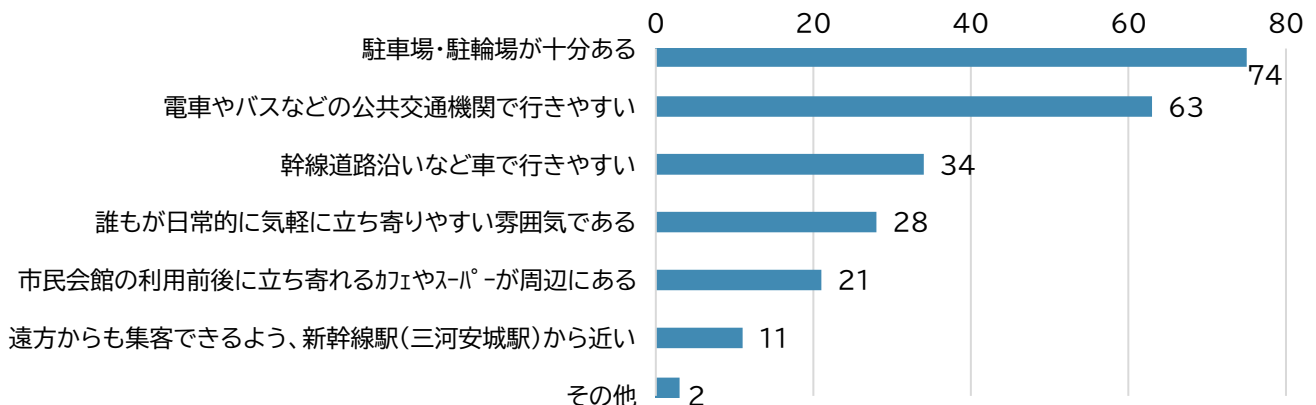


【周辺環境において重視すること】

市民会館の周辺環境においては、「駐車場・駐輪場が十分ある」ことが特に重視されていました。次いで「電車やバスなどの公共交通機関で行きやすい」ことであり、駅やバス停からのアクセスの良さも会場を選ぶ基準となっているといえます。

このように、市民会館には多様な交通手段に対応した環境整備が求められていると分かりました。

図 周辺環境において重視すること(n=233)【複数回答可】



【自由記述まとめ】

項目	内容	活動ジャンル
施設の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のホールや広いリハーサル室の設置を要望 ・安城市には500席弱の中ホールのマツバホールがありますが、舞台の奥行が浅く、音響照明などの設備面も講話・集会に向いていますが、演奏や演技にはやや物足りない側面があります。アンフォーレは根本的に商業的な利用以外の一般的な人は利用できない施設であるように感じています。もし市民会館が全面改修となるのであれば、複数のホール（大ホール、中ホール）そして広いリハーサル室を備えていただくと非常にありがたいです。演奏会は大ホール、発表会の中ホール、ワークショップや練習はリハーサル室と、選択肢が増えることで利用する側にたくさんのお機会が与えられることになると思います。 ・現在の市民会館のリハーサル室はあまりにもスペースが狭く横長で、リハーサルというよりは小人数での練習室とか楽屋の大部屋といった立ち位置に感じています。 	舞踊
	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽の視点からは、小ホールの併設を強くお願いしたいです。 ・コンクールではリハーサルや音出しのために少なくとも三つの空間が必要となりますし、合同演奏会の際にも小ホールがあると大変助かります。現在の市民会館と文化センターが併設されていれば、使い勝手は格段に向上したであろうと感じております。 ・ワークショップができるホール・部屋・練習室・ホワイエ・ギャラリー等他市・他県のホールを参考にご検討いただきたいと思います。 ・大ホール1つではなく、音響・楽器も整った小ホールも必要です。 ・環境の整った音楽専用の小ホールがあれば、一般利用者にも魅力的で稼働率の高い場所になるはずで。 ・今まで市民会館ホールは規模が私たちの催しに合わず、利用する機会がありませんでしたが、新しい構想があるのでしたら、大・小のホールなど音響等もしっかりしたものであれば、今後利用しやすくなると思います。 ・リハーサル室以外にも小規模や中規模の練習室がないと、現在安城市にある数多くの演奏団体の需要を満たすことができない。 ・たとえば大きなリハーサル室を小人数の演奏団体に使うのは非常に効率が悪い。 ・ピアノの練習部屋が2つあるのが理想だと思う ・市内には、音楽の練習に使える部屋が少なく、「合唱はよくても管楽器はダメ」などの制約がある施設も多いように感じます。様々な用途に使える部屋が充実しているとありがたいです。 	音楽
施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ・各出入り口が重い。 ・バリアフリー化 	

ホールの席数	・客席 300 人までの音響の良い発表の場が利用しやすいです。 ・客席 1000 人だとお客さんを集められません。	音楽
	・50～100 人、101～300 人位の規模で、音楽 OK のホールがいくつかあるといい。(駅の近くで)	伝統芸能
ホールタイプ・性能	・プロの演奏家を身近で聴ける場所があるといいです。	音楽
	・アンフォーレホールの階段状の席は、本気で音を大切にすれば駄目です。設計、施工他、構造上のミスかと思います。振動、共鳴が酷い！お客さんの移動だけでも揺れる程に弱い。もしも「多目的ホール」とするのであれば、他県、他市の完璧な可動式階段席を設けている場所をしっかりと研究して下さい。	
	・現在、利益の出るコンサートなどができないので、小規模で、音楽家が自由に借りて、コンサートなどを開催できたら、市民が芸術に触れるチャンスが増えて良いと思う。	
	・音楽に特化したホールになることを切に願います。	
	・田村響さん・後藤正孝さんのように、安城市から世界的に活躍されている演奏家の方に拠点として使用してもらえるような本格的なホールが必要だと思います。	
	・お客様と交流がしやすい、客席と舞台が隔離されていないホールもあればうれしいです。	
	・ホールの音響が西洋音楽仕様のところばかりなので、和楽器の音が響きにくいもしくは響きすぎてしまう。和楽器でも使いやすいホールがあると嬉しいです。	伝統芸能
	・音響のいいホールであって欲しい。	舞踊
・外部からオーケストラなどを招致しても恥ずかしくない音響の良いホールが必要。	音楽	
舞台設備 (音響、照明、舞台)	・2012 年にサルビアホールで発表会を行ったときに、オーケストラピットを使わせていただいたのですが、「ほぼ使われていなく久しぶりです」と会場運営のスタッフさんもおっしゃっていた、せっかくの設備なので活用していただけたらよいのにと当時思いました。	舞踊
	・市民会館サルビアホールは、広い舞台と音響設備があり、地元で大きな芸術公演を開催できる貴重な施設であると思います。 ・地域の文化レベルを高めるうえでも、今後も設備の整った大規模なホール設備を維持して行ってほしいです。 ・音響が良くない	音楽
リハーサル室	・改修を機に、リハーサル室については汎用性が高い最低限の音響設備を要望。	舞踊
	・リハーサル室で練習したことをホールで発表するのだから、その間の移動を考慮しないと大型楽器などは運ぶことができない。リハーサル室は1階にあるべき。	音楽

楽屋	・舞台に近い控室(楽屋等)にはある程度の広さと設備が整っているとい いです。	音楽
	・楽屋が狭くて使いにくい。	舞踊
倉庫	・市民会館を演奏会の主会場としたい団体には、大型楽器を置いておけ る倉庫が必要。	音楽
エントランス	・会場前の行列に対応できる屋根等、雨風よけ等がほしい。	音楽
	・入口、ホワイエが狭い。	舞踊
トイレ	・地下にトイレを配置しない。	音楽
駐車場	・手続きで利用した際、早目に来たのですが、駐車場が空いていなく、回 りを巡回して開始時間ギリギリに入室した記憶があります。車で行き来 できないとつらいです。	その他
	・築50年以上経っており、駐車場が少なく利用勝手がよくない。空調も 効かない様子で郊外の駐車場を広くとって立て直してほしい。	
	・駐車場が少なすぎる。	舞踊
備品	・バレエマットを置いていただきたいです。	舞踊
	・バレエマットの設置を求めたい。他市のホールと比較して設備面での改 善が必要ではないか(提言)	
	・地域の中小団体が少なからず残念に感じていることは、安城市のホー ルにはバレエマットと呼ばれる舞台リノがないことです。	
	・近年催事の主催者は、出演者やスタッフの健康被害やケガに対するマ ネジメントする責任が非常に重くなっています。舞台用の床材(リノリウ ム)を持たない舞台は、バレエに限らず演劇やその他の本格的な演目 には安全面で不安があります。	
・オーケストラピットは十年以上使われていなくてもホールに設置されて いるのに、マットはいらない、このような価値観の違いや無理解がある ように感じられてなりません。子供から大人までの安全と多目的な演 目をカバーする側面でもぜひ設置を強く望む次第です。		
整備手法	・市の特長として文化的嗜好の発展は期待できないので、耐震ならいい が特に新たに建設することはない。当方教室の生徒らは、各自で用途 別で近隣施設を活用しているので必要はない。	演劇
立地・アクセス性	・ホールに公共交通機関・駐車場が連結すれば近隣の方のみならず、遠 方からも集客できると思います。	音楽
	・新幹線駅に隣接するホールというのは他に例を見ないのではないでし ょうか。三河安城駅に建設されたら他県・他市との差別化が出来ると思 います。	
	・幅広い世代・市内外は勿論、少なくとも東海三県、そしてより遠方から の集客を見据え、公共交通機関に連結し、駐車場も立駐から雨天でも 快適に入館できる等、周辺環境を整えることが絶対必要条件だと思い ます。新幹線の通る三河安城駅は、この点を取り込める強みのある場 所だと思います。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・建て直すとしたら、安城更生病院とデンパークの間でバス路線があるところがいい。 	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷の施設はとても利用しやすい。せっかく三河安城駅があるのだから新幹線の駅からアクセスの良いところに刈谷総合文化センターのような施設があったら、アリーナとの相乗効果でものすごく地域が活性化するはず。 	音楽
運営方法・予約・事業	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は団体の興行利用など、市民が利用しやすい施設であったが、時代の変化により状況は大きく変化している。せっかくの市民会館であるので、料金を下げ、多くの市民が利用できるように望む。 ・市民会館の運営を民間委託でなく直営にしてほしい。 	伝統芸能
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営について、市民を優遇してはいかがでしょう。具体的には利用の抽選について、市内団体を優先する(出来れば登録団体)、使用料を市内とそれ以外に分けるなどです。他の市では実際にその制度があります。碧海地域としても良いと思います。 	音楽
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールが空いている日にはリハーサル等で使用しやすい仕組みがあるとありがたいです。(空いていれば数日前でも借りられたり、個人の練習であれば低価格で借りられたりするプラン等) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏者としては市民会館を利用したくても、特に個人や小規模団体での利用がどの程度可能なのか、初めての立場では分かりにくい印象です。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・安い料金で利用しやすいところがいいです。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール利用時に、予約、利用申請、支払い、当日と何回も行かないといけないのが面倒。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの予約が以前よりも取りやすくなったが、対面での手続きが多く、システムのさらなる改善を希望 ・土日の予約が取りにくく、多くの団体が希望する日程に予約が取れない現状がある 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や小規模な団体にも開かれ、利用促進が図られれば、より多くの市民が文化芸術に触れる機会につながると思います。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・東海市や東浦町のようにアマチュアバンド対象のミュージックフェスがあるといいと思います。 	
スタッフの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで知立パティオ、刈谷アイリス、愛知県芸さんなどのホールを利用させていただいたましたが、サルビアとマツバホールのスタッフさんが一番素晴らしかったと感じています。 ・ホールが多くの人に愛され利用されるためにハードを整えることは非常に大切です。そして、それを活用するためにはソフト、有機的に運営に携わるスタッフの皆様、人的財産が非常に重要と感じます。これからも地域の愛されるホールを大切に利用させていただければ幸いです。 	舞踊
施設の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化が進む中、コンパクトなまちづくりを進めていかないと地域の活力を維持できなくなる。 	演劇

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館と名がつく以上、一般市民の活動(発表、練習等)が気軽に行える場所であると望ましいです。 	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館が安城市の文化芸術振興の中心施設として存在してほしいと思います。 	音楽
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の管理下にあるが故に、利用に際してできることの制限が多すぎる。 	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館が、より幅広い世代・多様な表現者にとって親しみやすく、利用しやすい場となることを願っております。今後も安城市の文化芸術の拠点としてのさらなる発展を心より期待しています。 	音楽
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演、コンサートで1500人以上集められる特別な会館として、同時にアンフォーレのように気楽に行くことのできる場所として、市民会館が市民に広く活用されるといい。 	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市、豊田市、高浜市など近隣の多くの市は、ただホールを貸し出すのではなくホール自体がオーケストラなどの演奏団体を運営しており、市がホールの活動として地域の音楽文化を育成している。安城市の音楽文化そのものが後れを取っているのは、この違いが大きい。 ・オーケストラは、運営するのに、莫大な資金と常設できる大きな場所が必要。これは民間(個人)で努力すれば何とかなるものではない。市として取り組むことを切に希望する。 ・30~40年前、豊田市はたいへん立派なホールを作ったが、我々の音楽界では「箱だけ作って、中に入れるものがない文化不毛の地」と陰口を言われていた。それが現在では有名な音楽家もこぞって訪れる立派な音楽文化の地となった。ホールは場所を貸すものではなく、音楽団体を育てるところという認識に改めたから。このアンケートの内容から、市民会館は場所を貸し出すところという発想が見て取れる。参考になるホールは近隣にいくつもあるので、ぜひ研究してほしい。幸田町なども大変参考になる活動をしている。 	音楽
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や小規模な団体に利用促進が図られれば、より多くの市民が文化芸術に触れる機会につながると思います。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・へきしんギャラクシープラザで、物品販売がしたい。人の集まる時に歌手のCD、ドレス、お弁当が売れないのは納得できません。 	その他

安城市のホールに関するアンケート調査票

(1) 貴団体の活動について

団体名をご記入ください。

団体名

問1 貴団体の組織形態は、以下のどれに属しますか。

あてはまるものをすべて選び、【 】内に○印をつけてください。

- 【 】 趣味や関心を同じくする人が活動する団体〔例：サークル・同好会・愛好会 等〕
- 【 】 社会貢献活動を行う団体〔例：ボランティア団体・市民活動団体・NPO 法人 等〕
- 【 】 地域団体〔例：町内会、子ども会、社会福祉協議会 等〕
- 【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。

()

問2 貴団体の活動は、以下のいずれの分野ですか。

主に行っている活動を1つ選び、【 】内に○印をつけてください。

(活動内容)

■音楽	【 】 オーケストラ・吹奏楽・室内楽	【 】 合唱・声楽
	【 】 ポップス・ロック・バンド活動	【 】 その他楽器
■演劇	【 】 演劇	【 】 人形劇
■舞踊	【 】 クラシックバレエ	【 】 社交ダンス・フォークダンス
	【 】 タップダンス・ジャズダンス・ヒップホップ・フラダンス・コンテンポラリーダンス	
■伝統芸能	【 】 太鼓	【 】 日本舞踊
	【 】 民謡・詩吟	【 】 琴・三味線・尺八・二胡
■演芸	【 】 落語	【 】 浪曲
	【 】 コント	【 】 マジック
■美術	【 】 絵画	【 】 彫刻・版画
	【 】 陶芸・工芸	【 】 写真
■生活	【 】 書道・華道・茶道	【 】 短歌・俳句・川柳
	【 】 洋裁・和裁	【 】 着付け
	【 】 囲碁・将棋・麻雀	【 】 手芸・クラフト
	【 】 外国語	【 】 園芸・盆栽
	【 】 運動・体操・スポーツ	【 】 手話
	【 】 料理	【 】 その他勉強会・講習会
■地域活動	【 】 座談会	【 】 福祉活動・支援
	【 】 地域ボランティア	
その他	【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。	
	()	

- 市外公共施設
- 刈谷市総合文化センター(アイリス)
 - 知立市文化会館(パティオ池鯉鮒)
 - 西尾市文化会館(にしん文化会館 茶々とホール)
 - 碧南市文化会館
 - 碧南市芸術文化ホール
 - 岡崎市民会館
 - 岡崎市せきれいホール
 - 岡崎市竜美丘会館
 - 岡崎市シビックセンター
 - 豊田市民文化会館
 - 豊田市コンサートホール・能楽堂
 - 豊田産業文化センター
 - その他 ※()内に施設名をお書きください。
- ()

問5 活動場所について、重視していることは何ですか。
 あてはまるものを3つまで選び、【 】内に○印をつけてください。

- 使用料が安い
 - 立地が良くメンバーが集まりやすい
 - 電車やバスなどの公共交通機関で行きやすい
 - 幹線道路沿いなど車で行きやすい
 - 駐車場・駐輪場が十分ある
 - 場所の広さが活動に適している
 - 施設の性能(音響等)が良い・防音仕様となっている
 - 利用の手続きが簡単である
 - 施設の開館時間が活動に適している
 - 予約が取りやすい
 - 設備・備品が整っている
 - その他 ※()内に具体的にお書きください。
- ()

上記以外に、練習・稽古・創作・会議などを行う場所について重視している点があれば、ご自由にお書きください。

(3)発表・公演・展示などのイベント利用について

問1 昨年度(令和6年4月～令和7年3月)、貴団体が主催または参加した発表・公演・展示などについて会場、出演者数、入場者数などをお答えください。(いくつ記載しても構いません)

催し物名称	会場	出演者数	入場者数
	(下の選択肢から該当するアルファベットをご記入ください。また、複数会場がある場合は、すべて記入してください) ※その他 Gを選んだ場合は、具体的な会場名をあわせてご記入ください	(下の選択肢から該当するアルファベットをご記入ください)	(下の選択肢から該当するアルファベットをご記入ください)
(例)●●コンサート	(例)A-1	(例)B	(例)E

(会場の選択肢)

安城市民会館 A-1 ホール / A-2 リハーサル室 / A-3 ホワイエ / A-4 展示室 / A-5 和室 A-6 その他会議室等
へきしんギャラクシープラザ(文化センター/中央公民館) B-1 ホール / B-2 展示室 / B-3 その他会議室等
アンフォーレ(中心市街地拠点施設) C-1 ホール / C-2 多目的室 / C-3 願いごと広場 / C-4 その他会議室等
安城市昭林公民館 D-1 ホール / D-2 音楽室 / D-3 和室 / D-4 その他会議室等
安城市民ギャラリー E-1 展示室
安城市民交流センター F-1 ホール / F-2 音楽室 / F-3 その他会議室等
G その他 ※具体的な会場名を上記の表にご記入ください。

(出演者数の選択肢)

A 10人以下	B 11～30人	C 31～50人
D 51～80人	E 81～100人	F 101人以上

(入場者数の選択肢)

A 100人以下	B 101～300人	C 301～500人
D 501～800人	E 801～1,000人	F 1,001人以上

(4)安城市民会館について

問1 令和4年度以降、貴団体の活動で安城市民会館を利用したことはありますか。

1つ選び、【 】内に○印をつけてください。

【 】ある→問2へお進みください。

【 】ない→問5へお進みください。

★問1で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。

問2 安城市民会館のどの施設を利用しましたか。

あてはまるものをすべて選び、【 】内に○印をつけてください。

【 】 ホール

【 】 ホワイエ

【 】 会議室

【 】 楽屋・リハーサル室

【 】 展示室

【 】 その他 ※()内に施設名をお書きください。

(

)

問3 安城市民会館では主にどのような活動を行っていますか。

あてはまるものを1つ選び、【 】内に○印をつけてください。

【 】 練習・稽古・創作などの日常的な活動利用

【 】 会議利用

【 】 発表・公演・展示利用

【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。

(

)

問4 現在の安城市民会館に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、【 】内に○印をつけてください。「満足していない」を選択した場合、その理由としてあてはまるものをすべて選び、【 】内に○印をつけてください。

【 】満足している 【 】満足していない



【 】 使用料が高い

【 】 施設の性能(音響等)が良くない

【 】 場所の広さが活動に適していない

【 】 搬出入がしにくい

【 】 開館時間が活動に適していない

【 】 利用の手続きが煩雑である

【 】 予約が取りにくい

【 】 立地が悪くメンバーが集まりにくい

【 】 電車やバスなどの公共交通機関で行きにくい

【 】 幹線道路沿いで渋滞があるなど、車で行きにくい

【 】 駐車場・駐輪場が十分でない

【 】 設備・備品が整っていない

【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。

(

)

★問6へ進んでください。

問8 ホールの規模として、どれくらいの収容人数が適当だと思えますか。

ホールが1つで良い場合は1つを、規模の異なるホールが複数必要と考える場合(大ホール、小ホールなど)は、あてはまるものをすべて選び、【 】に○印をつけてください。

- 【 】 ~100人
- 【 】 101~300人
- 【 】 301~500人
- 【 】 501~800人
- 【 】 801~1,000人
- 【 】 1,001~1,200人
- 【 】 1,201~1,500人
- 【 】 1,501人以上

問9 ホールに併設すると良いと思う機能は何ですか。また、どのような機能があれば利用しやすいと思

ますか。あてはまるものをすべて選び、【 】内に○印をつけてください。

- 【 】 コンサート利用ができるホワイエやロビー
- 【 】 ホールの舞台面積と同じ広さのリハーサル室
- 【 】 防音がしっかりしたリハーサル室や練習室
- 【 】 小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース
- 【 】 書や華、陶芸等の作品が展示できるギャラリー
- 【 】 様々な活動に活用できる和室
- 【 】 市民が気軽に使える会議室
- 【 】 料理教室等のできるキッチンスタジオ
- 【 】 自習や仕事ができるスペース
- 【 】 子どもたちが遊べる屋内スペースやキッズスペース
- 【 】 様々な世代が交流できるラウンジ
- 【 】 カフェや飲食スペース
- 【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。

()

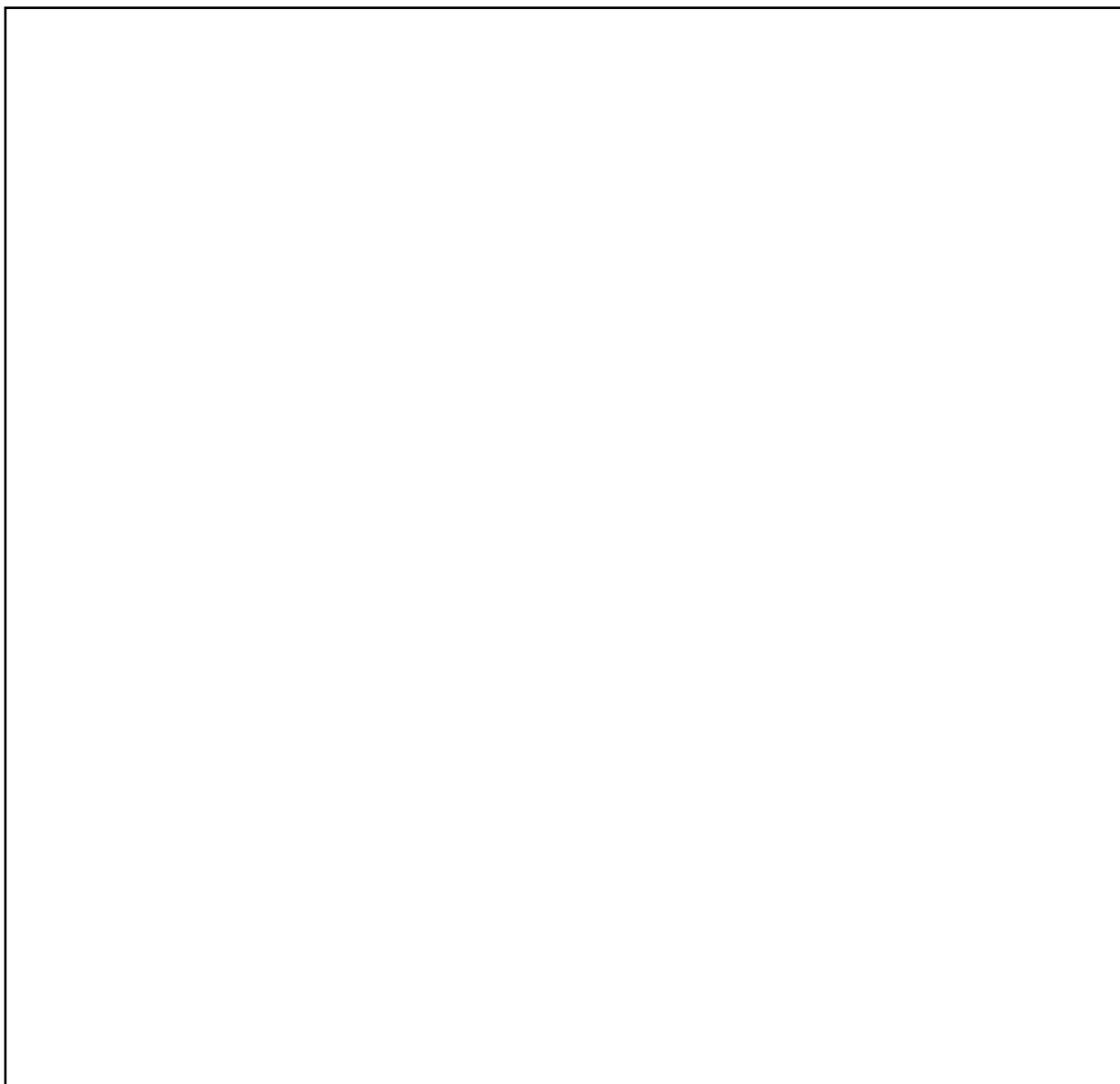
問10 安城市民会館の周辺環境について、重要視することは何ですか。

あてはまるものをすべて選び、【 】に○印をつけてください。

- 【 】 電車やバスなどの公共交通機関で行きやすい
- 【 】 幹線道路沿いなど車で行きやすい
- 【 】 遠方からも集客できるよう、新幹線駅(三河安城駅)から近い
- 【 】 駐車場・駐輪場が十分ある
- 【 】 市民会館の利用前後に立ち寄れるカフェやスーパーが周辺にある
- 【 】 誰もが日常的に気軽に立ち寄りやすい雰囲気である
- 【 】 その他 ※()内に具体的にお書きください。

()

問11 上記以外に、安城市民会館に関するご意見等をご自由にお書きください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(4) プロモーター等ヒアリング

市民会館ホールの利用実態と課題を整理するとともに、市場性の観点から適切な客席数と集客見込みを把握することを目的として、公演等を企画・運営するプロモーターやプロ実演団体等4団体にヒアリング調査を実施しました。

調査期間

令和7年7月9日、8月25日～26日、9月1日

◇調査結果

①実演団体

【市民会館の利用頻度や内容】

- ・3年に1回程度のペースで市民会館を利用している。

【市民会館の良い点、悪い点】

〈設備〉

- ・空調が弱い。前日からフル稼働してくれていたが、スタッフや俳優、来場者からクレームがあった。空調設備が改善されないと夏の時期は使えない。

〈舞台・客席〉

- ・客席数は1,200席だが、PA席を除くと1,166席となり少し不足する。本来は、1,300～1,400席あると採算的に丁度よい。
- ・舞台について、舞台袖が若干狭い印象だが、近隣の会館と比べると平均的な広さとする。

〈楽屋〉

- ・圧倒的に楽屋が少ない。出演者全員が入らない場合、上演できない作品が出てくる。
- ・楽屋の広さと数、どちらも少ない印象。会議室もあるが、鏡が無いため楽屋としての利用は難しい。
- ・応接室も楽屋としては使えない。
- ・楽屋は洋室がよい。和室は靴の脱ぎ履きに手間がかかる。
- ・基本的にシャワー室は利用しないが、排水のために使うことはある。

〈搬入口〉

- ・搬入口がメイン出入口に面しているため、トラック3台が限界でかつ転回にも苦勞する。通常11トントラック3台で移動する。
- ・舞台の上手側と下手側の両方から搬入できるとよい。

〈ロビー・トイレ数〉

- ・他の会館と比べロビーの広さは遜色ないが、トイレの数が少ないと思う。女性の来場者が多いため待機列が発生する。
- ・休憩20分間の中で1,200人をさばくために、スタッフを配置する必要がある。洋式トイレが十分にあるとスタッフ人数も最小限に抑えられ、時間を心配する必要もない。

〈リハーサル室〉

- ・リハーサル室は狭いため、リハーサル利用はせずにスタッフの休憩部屋として使っている。演者はロビーで声出しをしている状況。十分な広さのあるリハーサル室があるとよい。

〈その他〉

- ・運営スタッフの常駐人数が少ない点が気になる。他の会館では10人程度だが、市民会館は2人程度ではないか。

- ・利用料金は比較的良心的である。
- ・優先予約は15～13か月前からできるとよい。

【愛知県／安城市内の利用について】

〈愛知県内で主に利用する施設とその利用内容〉

- ・名古屋市民会館と愛知県芸術劇場を毎年利用している。

〈愛知県内における安城市の位置づけ・利用の可能性〉

- ・利用の基準は公演ができるハコかどうか。市民会館は「公演できるハコ」という位置づけになっている。
 - ・その他、売れる地域かどうかも見えており、安城市は「売れない地域」という位置づけであるのが正直なところ。
 - ・また、ホールの予約が取りやすさも条件になってくる。
 - ・市民会館は立地がよくない印象。また、駐車場が潤沢ではなく警備員を6人程度発注する必要がある。刈谷市総合文化センターは駅直結であり、みよし市勤労文化会館は駐車場が多い。
 - ・客席数は1,300～1,400席が妥当と考える。
 - ・立地について、スタッフ・演者は近隣ホテルに宿泊し、チャーターバスで移動しているため、新幹線駅である必要はない。
 - ・愛知県内のホールの需要としては、名古屋市が一番大きい。安城市に1,300～1,400席があるとよい。(市)
- これまで、安城市は「売れない地域」という印象だった。1,400席あっても空席があると意味がない。需要の有無について、令和10年から名古屋市民会館が8年間使えなくなる。東海エリアでも公演を展開する必要があるため、今後10年先までは近隣市町の需要は多いと考える。ただし、10年限定の特需かもしれない。

【理想とする会場(ホール)について】

〈会場(ホール)の選定にあたり重視すること〉

- ・上記のとおり

〈会場(ホール)の形態について望むこと〉

- ・上記のとおり

〈会場(ホール)の設備について望むこと〉

- ・上記のとおり

〈参考となる国内／東海エリア／愛知県内で使いやすい会場(ホール)〉

- ・岡崎市民会館が使いやすい。キャパは少ないが、トラック2台縦列駐車でき、楽屋も潤沢でさらにリハーサル棟もある。
- ・予約は13か月前から行えるのが望ましい。ツアー公演は、北海道から始まり沖縄で終了するが、13か月前からの優先予約でホールを確保できない場合、前後の公演地や日程を組み替える必要が生

じてしまう。

【近年の業界動向】

- ・貸館の場合、紙のチケットを使用している。電子チケットを実現しようとなると、会場に機材を持ち込む必要がある。
- ・志木市文化会館は、会館独自の電子チケットを使用している。

②プロモーターA社

【市民会館の利用頻度や内容】

- ・市民会館の利用は数年に1回程度。
- ・演劇やミュージカルでの利用が中心。

【市民会館の良い点、悪い点】

- ・ホールの客席数は適正である。
- ・利用料金は良心的である。
- ・舞台の広さは狭いとは思わない。
- ・音響性能は舞台やミュージカルの場合、そこまで気にする人はいない。オーケストラが入る際は、客席側への音の響きが求められる。

【愛知県／安城市内の利用について】

〈愛知県内で主に利用する施設とその利用内容〉

- ・愛知県芸術劇場や名古屋市民会館、名古屋国際会議場センチュリーホール、ウインクあいち、豊田市民会館、刈谷市総合文化センター、東海市芸術劇場を利用することが多い。
- ・ホール予約の際は、名古屋市を中心に当たっていき、名古屋市から離れる場合は、浜松市を選ぶことが多い。
- ・コンサート系の場合、名古屋市内での開催を希望するアーティストが多い。
- ・客席数については、ラインが数段階ある。1,000席、1,500席、2,000席超えの3つがある。(見切れ席やPAの100席ほどは販売しない。)

〈愛知県内における安城市の位置づけ・利用の可能性〉

- ・名古屋市以外の場合、刈谷総合文化センターや東海市芸術劇場が第一候補で、それ以外の施設はスケジュール次第。
- ・著名アーティスト等の音楽公演の場合、県外から来場する人も多い。
- ・立地については、新幹線駅に近い方が良い。交通の便もそうだが、ビジネスホテルが充実しているなど、宿泊施設が徒歩圏内に多い方がプロモーターとしてはありがたい。

【理想とする会場(ホール)について】

〈会場(ホール)の選定にあたり重視すること〉

- ・演劇の場合、1～2週間の長期公演もある。2～3年後の公演などを優先予約ができるかどうか。長期利用できる会場が愛知にない場合、愛知が飛ばされることもある。

〈会場(ホール)の形態について望むこと〉

- ・客席数は1,500～1,600席までであっても需要はあると思う。

〈会場(ホール)の設備について望むこと〉

- ・舞台袖や舞台後方が広いとよい。愛知県芸術劇場大ホールぐらいの広さがあるとオペラやミュージ

カルに対応できる。

- ・空調は利けば利くだけよい。
- ・楽屋の空調について、演者が多いと環境を気にする人もいる。一括管理の施設も多いが、廊下と部屋を別で調整できると良い。
- ・バトンが多いほうが良い。荷重が取れ、様々な公演に対応できること。
- ・利用時間について、前延長や後延長の受け入れがない会館が多いため、その点が柔軟だと良い。

〈参考となる国内／東海エリア／愛知県内で使いやすい会場(ホール)〉

- ・愛知県芸術劇場は、4～5階席を利用しない中規模利用が可能で、基本料も割引となる。舞台の広さも良い。
- ・静岡県清水文化会館(マリナート)は、舞台広さがミュージカルに適しており、また、楽屋数が多いため使いやすい。

【近年の業界動向】

- ・オンライン配信は、コロナで増えたが収まった。千種楽の公演だけ配信する場合もある。
- ・電子チケットの公演は、かなり増えている印象。公演によっては紙チケットの場合もある。案件に合わせて選択している。
- ・電子チケットについては、キャリアの電波が弱くお客様のチケットが表示できないことがある。設備について特に要望はないが、電源は近くにあった方が良い。
- ・働き方改革による人手不足は特に無いが、アリーナの規模では徹夜の場合もある。人件費が高騰している印象はある。

③プロモーターB社

【市民会館の利用頻度や内容】

- ・貸館での利用はほぼ無かった。
- ・運営会社と様々な会館で共催する機会があり、市民会館では共催でポップスコンサートを行った。
- ・ポップス系コンサートでの利用が多い。

【市民会館の良い点、悪い点】

- ・車椅子席が6台分設置されているが、スタンディングで鑑賞する場合に視界が確保しづらい。館と相談して、オーケストラピット内の1～2列を外して車椅子スペースにする対応をした。
- ・舞台の広さ自体には問題はないが、舞台上手袖がもう少し広いと良い。
- ・表周りのバリアフリー対応は問題ない。
- ・11tトラックが2台入れると良い。搬入出の時間短縮になる。
- ・リハーサル室の利用は無い。出演者やスタッフの出入りが多いので、諸室の利用は1階でまとめた。一方で、演出上ダンサーがいる際は、2階の部屋を利用する場合もある。
- ・楽屋は、追加で1～2部屋あると良い。とあるポップスアーティストのホールツアーの場合、出演者6人、スタッフ20人弱であった。
- ・楽屋は、和室より洋室の方が好ましい。靴の履き脱ぎを減らしたい。以前、和室に養生をしてもらったことがある。
- ・トイレの数は多いに越したことはない。女性のお客が多い公演の際は、列ができがちで、開演時間にも影響が出る。また、客層によって男女の個室数を調整できるよう、トイレの壁は可変タイプが良い。
- ・ロビーでのグッズ販売は問題なくできている。

【市民会館を利用しない理由】

- ・名古屋市を中心に探すことが多い。
- ・大都市以外の第三都市ツアーをするコンセプトの場合は、共催で利用する場合はある。

【愛知県／安城市内の利用について】

〈愛知県内で主に利用する施設とその利用内容〉

- ・名古屋国際会議場センチュリーホール、愛知県芸術劇場大ホール、名古屋市民会館大ホールを主に利用するが、倍率が高く予約が取りづらい。そのため、刈谷市総合文化センターが次の候補に入っている。
- ・刈谷市総合文化センターは使いやすい。駅直結なのでお客様の利便性が良い。
- ・岡崎市民会館は1,100席とキャパが少なく、搬入条件も悪いため使用しない。

〈愛知県内における安城市の位置づけ・利用の可能性〉

- ・安城市なら1,500席あれば候補には挙がる。
- ・名古屋市内の大きいキャパのホールで公演をすることが第一である。名古屋から近い場所でもう一公演やるなら岐阜、三重など他県の要望が多い。

- ・建て替えをする場合は、鉄道駅から徒歩で近い立地が望ましい。新幹線の駅は、他方から来るお客様にとっては良い条件であるが、全体的な比率で考えると圧倒的に少ないので愛知県のお客様に焦点を当てたい。
- ・愛知県は、乗用車の保有率が日本一であるが、駅から離れていると若年層のお客様のアクセス方法の問題が発生する。

【理想とする会場(ホール)について】

〈会場(ホール)の選定にあたり重視すること〉

- ・第三都市では1,200～1,300席のホールが多く、新たに1,500席のホールをつくっても市民利用の方が多くなると想定される。理想は2層にして、1階を1,000席前後にし、2階席を可動壁等でクローズできる構造だと市民の方も使いやすいと考える。

〈会場(ホール)の形態について望むこと〉

- ・舞台袖や反響板のある多目的ホールが適している。

〈会場(ホール)の設備について望むこと〉

- ・電気容量がもう少しあると良い。1,200～1,300席の会館は、築50年近いと圧倒的に足りない場合が多い。別途で電源車が必要になってしまう。

〈参考となる国内／東海エリア／愛知県内で使いやすい会場(ホール)〉

- ・静岡市民文化会館とアクトシティ浜松である。プロモーターとして東海エリアは会場不足で厳しい状況。
- ・車椅子席の配置が一番重要。市民会館でいうと、脇花道の延長線上(中通路付近)に車椅子席があれば視界を確保できる。1階席後方であればスロープの勾配を大きくすれば視界が確保できる。他館のケースだが、障害者の団体から「スタンディングで見えないかもしれないが近くで感じたい」という意見をもらった。そこで、客席2段目と1階席一番後方に視界を確保できる車椅子スペースをつくった。

【近年の業界動向】

- ・入手が難しい公演を特定入場券での対応にしたり、顔認証での入場にしたりなど、転売防止のシステムが増加している。
- ・電子チケットと紙チケットは併用しないことが多い。
- ・転売防止対策で、席番の発券が当日になる場合もある。
- ・オンライン配信はほぼやっていない。
- ・ホールの申し込みの時期は、12～13か月前の開始が全国的に多い。アーティスト側とやり取りのう え仮押さえする。申請日より先に会場を抑えられる(優先予約ができる)と有利に公演を誘致できる。

④マスコミ企業

【市民会館の利用頻度や内容】

- ・これまでに市民会館の利用はない。
- ・市民会館は選択肢として挙がってこなかったのが実情。知名度の問題かもしれない。

【愛知県／安城市内の利用について】

〈愛知県内で主に利用する施設とその利用内容〉

- ・基本的には名古屋市市内での公演が多く、なかでも愛知県芸術劇場を利用する。抽選で外れた場合、刈谷市、東海市、豊橋市が候補に挙がる。
- ・よく利用するのは刈谷市総合文化センター(1,542席)である。名古屋駅から15分程度で行くことができ、駅直結でキャパシティも十分にある。重宝している。
- ・東海市芸術劇場(1,025席)もキャパシティは少ないが、駅直結である。開館のタイミングで説明会に出席し、「駅直結&新施設」ということで利用した。
- ・穂の国とよはし芸術劇場プラット(778席)は都内演劇公演の作品とサイズ感が合う。また、自治体が力をいれて開館したホールのため、業界の認知度も高い。
- ・その他、稲沢市民会館(1,304席)も数年に1回の頻度で利用している。

〈愛知県内における安城市の位置づけ・利用の可能性〉

- ・安城市は刈谷市よりも少し遠い印象ではあるものの、利便性は差がない。刈谷は駅直結であることが大きい。
- ・新幹線駅よりも、快速がとまる安城駅のほうがよい。演者は名古屋駅から車で送迎することになるので、新幹線移動はあまり考えられない。三河安城駅のメリットはあまりない。名古屋から来る人を快速で運べる安城駅のほうが強い。

【理想とする会場(ホール)について】

〈会場(ホール)の選定にあたり重視すること〉

- ・キャパや立地の他に、土日の予約がとれることも条件としては大きい。
- ・刈谷は取り合いになるため、やり方によっては安城を利用する流れも出てくるかもしれない。施設のブランディングが重要。他施設との差別化を図ること。
- ・現状、連続利用の制限があるようだが、その制限がなくなっても集客できるホールかどうか。ホールの強みを考える必要がある。

〈会場(ホール)の形態について望むこと〉

- ・当然キャパが多い方が可能性は広がるが、良し悪しはある。戦略次第である。
- ・ホールタイプについて、専用ホールならではの良さもあるが様々な用途で使える方がよいだろう。
- ・小ホールを物販等で同時利用するケースは少ない。ホワイエやロビーの広さが十分であれば問題ない。

〈その他、設備や運営面について望むこと〉

- ・和室楽屋は不要。
- ・大型公演は2年前から予約を開始するが、ツアー自体の決定が1年前を切ることも多く、逆に11か月前～にするとこぼれた公演を拾えるかもしれない。

【近年の業界動向】

- ・配信設備や最新機材をどこまで入れるか。最新機材を導入しても陳腐化は早い。IG アリーナのように、ドコモなどのキャリア会社がホール運営に入ってきているケースもある。そのような会社とパートナーを組むことで可能性が広がると考える。